

松本市文化財調査報告No.171

長野県松本市

五輪遺跡 GORIN Site

第1次緊急発掘調査報告書



2003.12 松本市教育委員会

松本市文化財調査報告No.171

長野県松本市

五輪遺跡 GORIN Site

第1次緊急発掘調査報告書

例言

1 本書は森田建設株式会社による高層分譲マンション建設に伴い、松本市教育委員会が緊急発掘調査を実施した五輪遺跡の第1次緊急発掘調査報告書である。

2 調査対象地は松本市野澤木工1丁目382-13他(対象面積3,234平米、建地面積497平米)である。なお、グリッドの座標系は真北より7度34分40秒西へ傾斜している。

3 試掘調査は平成15年1月16日より1月17日まで実施し、本調査は平成15年2月10日より3月28日まで実施した。整理作業及び本報告書の作成は平成15年4月1日より12月26日まで実施した。

4 本書の執筆は、1_1.調査経緯及び1_2.調査体制を
森田幸信及び事務局が、5.総括を内堀 団及び太田圭郁
が、その他を太田が担当した。

5 本書の作成にあたっての作業分担は以下の通りである。

遺物洗浄:河野清司、福島 勝

遺物注記:村山牧枝

遺物接合:河野清司、福島 勝、

沢文江(金属製造物)、村山牧枝、

赤羽裕幸、内堀 団、太田圭郁

遺物属性観察:内堀 団(土製遺物、金属製造物)、
太田圭郁(土製遺物、石製遺物)

金属製造物保存処理:内堀 団、沢文江

土製遺物・石製遺物実測:内堀 団、太田圭郁

土製遺物・石製造物トレース:太田圭郁

金属製造物実測:沢文江

遺構図整理:村山牧枝

四面顕スキャニング・画像処理:
村山牧枝、赤羽裕幸、内堀 団

遺構図トレース:村山牧枝、赤羽裕幸

版組:村山牧枝、赤羽裕幸、内堀 団、太田圭郁

編集:内堀 団、太田圭郁

6 土層観察には新版標準土色帳23版を使用した。

7 整理作業過程において、動物遺存体の鑑定については西沢寿晃氏に、植物遺存体の鑑定については森 義直氏に有益な御教唆を頂いた。記して御礼申し上げます。

8 本調査で回収した遺物及び調査の記録類は松本市教育委員会が保管・管理し、松本市立考古博物館に収蔵されている。

松本市立考古博物館

郵便番号390-0823 長野県松本市中山13738-1

電話番号0263-86-4710 FAX番号0263-86-9189

9 本報告書の入稿及び校正はPDF形式で実施した。

本文目次

1.調査経過	1
1.1.調査経緯	1
1.2.調査体制	1
2.遺跡環境	1
3.調査方法	2
3.1.現場作業	2
3.2.整理作業	3
4.調査成果	4
4.1.土層	4
4.2.遺物	20
4.2.1.無機遺物	20
4.2.2.有機遺物	34
5.総括	35

表目次

第1表	遺構主要諸元	4
第2表	試掘トレーニー一覧	4
第3表	トレーニー一覧	4
第4表	断面図一覧	5
第5表	土層一覧	5
第6表	遺構一覧	10
第7表	ユニット一覧	11
第8表	石製遺物主要諸元	20
第9表	土製遺物主要諸元	20
第10表	金屬製遺物主要諸元	20
第11表	無機遺物主要諸元	20
第12表	無機遺物接合単位接合率	20
第13表	石製遺物接合距離一覧	24
第14表	石製遺物接合単位石材組成	25
第15表	石製遺物接合単位器種組成	25
第16表	石製遺物石材単位器種組成	25
第17表	石製遺物接合単位接合率	26
第18表	石製遺物母岩別資料一覧	26
第19表	土製遺物接合単位接合率	30
第20表	土製遺物母体別資料一覧	30
第21表	金屬製遺物接合単位器種組成	30
第22表	金属製遺物属性一覧	30
第23表	土製遺物接合距離一覧	33
第24表	動物遺存体主要諸元	34
第25表	植物遺存体主要諸元	34
第26表	動物遺存体属性一覧	34
第27表	植物遺存体属性一覧	34
第28表	調査主要諸元	35
第29表	石製遺物接合コード4.5一覧	38
第30表	土製遺物接合コード4.5一覧	38
第31表	石製遺物接合コード4.5単位数	38
第32表	土製遺物接合コード4.5単位数	38

図版目次

第1図	調査区位置図	1
第2図	トレーニー及びセクションポイント配置図	12
第3図	遺構分布図	13
第4図	土層断面図(1)	14
第5図	土層断面図(2)	15
第6図	土層断面図(3)	16
第7図	土層断面図(4)	17
第8図	土層断面図(5)	18
第9図	土層断面図(6)	19
第10図	遺物分布図	21
第11図	石製遺物接合資料分布図	22
第12図	土製遺物接合資料及び金屬製遺物分布図	23
第13図	石製遺物接合資料実測図	32
第14図	土製遺物接合資料実測図	33
第15図	動物遺存体出土遺構分布図	34
第16図	植物遺存体出土遺構分布図	34
第17図	平均遺物水平接合距離遺物分布図	36
第18図	平均遺構現存最大長径遺物分布図	37
第19図	接合コード4.5抽出接合関係模式図	38

例

造積構造一覧

造積構造番号	設定概要名
SB	住居状況構
SK	土坑状況構
SQ	過密集中分布域
SX	不明
SZ	候
TK	後出面
TG	グリッド
TS	サブトレンド
TT	トレンド
TY	周辺

石製造物石材略号一覧

石材略号	石材名
As	安山岩
CrAs	玄武岩板状火成岩
D	閃绿岩
GrAp	半花岗岩
Gr	花岗岩
Co	麻岩
Sa	砂岩
Hs	硬变质岩
Sh	片岩
MnTu	史丹凌变质岩
Ts	砾状岩
Sl	砾状岩
Ch	チャート
Ph	千枚岩
CrSc	砾石片岩
MsSc	砾石片岩
Ho	ホルンフェルス
Qs	石英

表中項目

番号	項目	内容	データ表示方法
3	久留情報	欠省の有無。	ON/Off:Yes
4	写真	新面写真撮影の有無	ON/Off:Yes
	EIV	エレベーション作成の有無	ON/Off:Yes
	投影	過密集中分布図作成の有無	ON/Off:Yes
	欠省	欠省の有無。	ON/Off:Yes
5	標準ID	注記番号。ただし地塊順序を示すものではない。	数字かひがい、UK数字、番号記入忘れ本記述不明:選択範囲記載文字無記入不能表示なし
	主体粒子	構成する土壤の主体粒子。	d結合シルク / fm_羅矽沙_粗粒
	副次粒子	構成する土壤の副次粒子。	d結合シルク / fm_羅矽沙_粗粒
6	選択名	同一層に考え方された上層と下層。新面面図が交差するものについて整理した。	新面ID:層番ID
	後出	後出状況不眞鍼識の有無。	選択略号参照
	欠省	欠省の有無。	ON/Off:Yes
	振替情報	振替元、振替元の直道情報。	→選択略号:選択略号→
	接合面ID	個別羽根合接合面識番号。	通し番号
	岩谷聯合管理番号	岩谷聯合管理資料登録番号。	通し番号
	接合番号	接合面図によって成立するグループの先頭個体IDに「R」を冠した管理番号。	R数字
	隔離	分離時期の先後関係。	→同順→先後
	R_code	接合コード、接合コード表参照。	code表参照
	隔別番号	接合資料番号接合別R_code。	code表参照
20	は背景番号	岩谷別合資料番号表番号。	通し番号
	R_code	接合面図によって成立するグループの先頭個体IDに「R」を冠した管理番号。	R数字
	総合番号	接合コード、接合コード表番号。	code表参照
	R_code	接合コード表番号。	code表参照
22	ID	岩体資料番号。	通し番号
	種類	岩相分析による岩系算出結果。	ON/Off:Yes
	種別	多気孔岩の心窓記述文書を端紙、岩質資料を挿しとしFに記述せば緑色紙	F.C.
	産物	肉眼觀察から選定した生産物の頭文字を略称.product(産品)をPと、product(副産物)をP'で。product(副産物)をPPとし時称。	P, P'
	重量(g)	クリーンシングル評定の重量を計量。	最小単位0.1g
	形態	塊: 块状塊/原塊。塊: 原塊/块状。	規格化/標準
	形狀	形狀比(%)の1を塊状2.5を塊状1.2を板状と分類。	塊状/板状
	形状区分番号	一般に使用される機能名称記述に沿ぬ。形狀から類似しているものを呼称。	表中使用名参照

石製造物岩種略号一覧

岩種略号	岩種名	仮設岩種
C	石炭	削落巣の剥離としての剥離痕が認められる體。
F	洞穴	剥離巣の剥離としての剥離痕が認められる體。
RF	二次加工による剥片	二次加工による剥片。
P	酒	自然石による剥離の痕跡が認められない體。
PT	薙石片	削落及び折り戻しもしくは削れの痕跡が認められる體。
PT1	断面片	剥離及び折り戻しもしくは削れの痕跡が認められる體。
PT2	襯石片	剥離による削離の痕跡が認められる體。
PT3	襯石片	手で取りもしくは剥れの痕跡及び自然風化の両者が認められる體。
PTC	碎合面	PT1, PT2, PT3のいずれかを主材とし、削離、研磨、敲打技術が認められる體。
PI	礫岩1型	礫岩を主材とし、凸面に研磨技術が施されたか、もししくは研磨技術により凸面の形成された體。
P2	礫岩2型	磯石を主材とし、凸面に研磨技術が施されたか、もししくは研磨技術により凸面の形成された體。
PC	礫岩3型	磯石を主材とし、研磨、無研、まれには削離技術までが組合して認められる體。
Ws	風化石	風化を主材とし、研磨、無研、まれには削離技術までが施されたか、もししくは研磨技術により平坦面の形成された體。

遺物ドット一覧

<input type="checkbox"/> 古墳遺物	<input checked="" type="checkbox"/> 石製造物混合資料
<input type="checkbox"/> 土塚遺物	<input type="checkbox"/> 土塚遺物混合資料
<input type="checkbox"/> 全墓遺物	<input type="checkbox"/> 全墓遺物混合資料

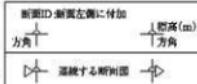
接合コード一覧

コード番号	内縫	ユニット	壁1112面設定
コード1#	縫隙外	0.1pt	
コード2#	單一縫隙内	ユニット内 0.15pt	
コード3#	複数縫隙(切込追削開)内	ユニット内 対象外	
コード4#	单一面内(面縫隙含む)	0.3pt	
コード5#	複数ユニット内	0.25pt	

ベクタライズ設定一覧 *以下を範型と設定したが変更して用いた部分もある。

基盤	オブジェクト	壁幅(pt)	壁縁設定(pt)	サンプル
平面	構造全	0.4	無し	
平面	構造下端	0.38	無し	
平面	深井上端	0.38	無し	
平面	トレンチ	0.37	無し	壁分岐開口
平面	複数範囲	0.36	無し	壁分岐開口
平面	複数トレンチ	0.35	無し	
平面	祐立床	0.34	K50% 壁分岐開口	
平面	線上	0.33	K20% 壁分岐開口	
平面	火化物	0.32	K10% 壁分岐開口	
平面	その他	0.31	K25% 壁分岐開口	
平面	吹き下端	0.31		
平面	構造下端	0.3	無し	
平面	構造内邊端上端	0.25	無し	
平面	構造内邊端下端	0.25	無し	
平面	表面トレンチ	0.2	無し	
平面	自然壁(線D)	0.21	無し	
平面	吹き壁	0.26	無し	
平面	吹き出し縫	0.1	無し	
平面	吹き出し縫	0.1	無し	壁分岐開口
平面	切られた造壁	無し	壁分岐開口	

平面図/断面図セクションポイント



遺物接合関係一覧	→ 分離失却接合関係	● 分離失却接合関係		
遺物間接合接合	石製造物	●		
石製造物	●	● 分離失却接合時		
遺物間接合接合	○	● 分離失却接合時		
接合グリッド	石製造物	○		
石製造物	○	○ 分離失却接合時		
接合グリッド	○	○ 分離失却接合時		
接合グリッド	石製造物	○		
石製造物	○	○ 分離失却接合時		
土製造物	○	○ 分離失却接合時		
ベクタライズ設定一覧	以下を範型と設定したが変更して用いた部分もある。			
図形	オブジェクト	壁幅(pt)	壁縁設定(pt)	サンプル
平面	構造全	0.4	無し	
平面	構造下端	0.38	無し	
平面	深井上端	0.38	無し	
平面	トレンチ	0.37	無し	壁分岐開口
平面	複数範囲	0.36	無し	壁分岐開口
平面	複数トレンチ	0.35	無し	
平面	祐立床	0.34	K50% 壁分岐開口	
平面	線上	0.33	K20% 壁分岐開口	
平面	火化物	0.32	K10% 壁分岐開口	
平面	その他	0.31	K25% 壁分岐開口	
平面	吹き下端	0.31		
平面	構造下端	0.3	無し	
平面	構造内邊端上端	0.25	無し	
平面	構造内邊端下端	0.25	無し	
平面	表面トレンチ	0.2	無し	
平面	自然壁(線D)	0.21	無し	
平面	吹き壁	0.26	無し	
平面	吹き出し縫	0.1	無し	
平面	吹き出し縫	0.1	無し	壁分岐開口
平面	切られた造壁	無し	壁分岐開口	

1. 調査経緯

1.1. 調査経緯

松本市野溝木工1丁目382-13に、森田建設株式会社によって高層分譲マンション建設が計画された。近隣に周知の埋蔵文化財を含む地である野溝遺跡と五輪遺跡が所在しており、それらの遺跡の広がりが予想された。そこで、松本市教育委員会では同社の協力を得て平成15年1月16日から17日にかけて事業地全体の試掘調査を実施した。

その結果、平安時代の遺構遺物が確認され、同事業予定地が遺跡の範囲であることが明らかとなり、五輪遺跡が南に広がっていると判断された。同社と市教育委員会で事業予定地内の埋蔵文化財について保護協議した結果、事業に先立って緊急発掘調査を実施し記録保存を図ることとなった。

発掘調査の実施にあたっては、森田建設株式会社及び株式会社エスティー・ギャラリーから松本市が委託を受け、松本市教育委員会が発掘調査・整理作業及び調査報告書の刊行等の業務を行なうこととし、平成15年2月3日付で委託契約を締結した。発掘調査は同年2月10日に開始し3月28日に終了した。整理作業及び調査報告書の刊行については、平成15年4月1日付で前年度と同様に委託契約を締結し、平成15年12月26日をもってすべての業務を終了した。

1.2. 調査体制

調査団長：竹淵公華（松本市教育長）

調査担当者：栗田幸信、小山高志、赤羽裕幸、太田生都、内堀 団、堀 久士、清水 実

調査員：今村 克

協力者：荒木 稔、石井脩二、大月八十喜、上條道代、

小松正子、鈴木幸子、寺島 実、中曾根和明、

村山牧枝、百瀬二三子、横山 清

事務局：松本市教育委員会教育部文化課

有賀一誠（課長）、熊谷康治（課長補佐）、

田口博敏（課長補佐）、直井雅尚（主査）、

武井義正（主任）、久保田剛（主任）、櫻井 了（主任）、

渡邊陽子（嘱託）、塚原祐一（嘱託）、～平成15年3月）、

太田万喜子（嘱託）

2. 遺跡環境

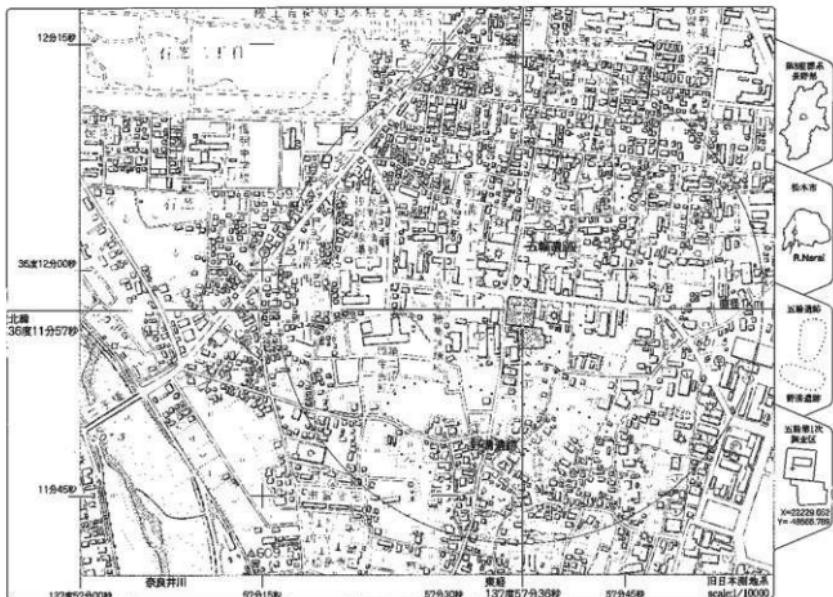
本遺跡の所在する松本盆地は洪積世中期に起きた造盆地運動によって形成された構造性の盆地で、糸魚川-静岡構造線と平行する東西の山麓沿いの大断層と、それらを横切る東西方向の断層により生じた南北に長い盆地である。西南部は飛騨山地の中・古生層と、それに貫入または噴出した火成岩類よりなっている。東北部では新生代の第三紀層と、それに貫入または噴出した火成岩類よりなっている。

五輪遺跡は奈良井川の東岸約800m程に位置し、奈良井川と田川に挟まれた複合扇状地にある。標高は601mを測る。対象地内で実施されたと考えられるボーリングデータ（酒井他編 2000）によると、現地表面より-80cmまでは腐食土層及びシルト層、-80cmより-680cmまでは砂礫層及びシルトまじり層、-680cmより-1200cmまでは玉石まじり礫層という結果が得られている。

引用・参考文献

酒井潤一他編 2000『松本平地盤図2000』

森 義直 2002『地形・地質』『新村遺跡』松本市教育委員会 pp11



第1図 調査区位置図

3. 調査方法

本調査では遺構を任意の土層群、遺物を土壤以外の物体と仮設し、調査区内におけるあらゆる土層及び、あらゆる遺物の水平垂直分布の記録保存を目的とした。その為、土層分布については断面図をより多く作成することとし、遺物分布については三次元座標の記録に努めた。報告書作成にあたっては事実としての範囲内に止め、土層及び遺物の水平垂直分布の提示及び接合関係の把握を目的とした。

3.1. 現場作業

調査区設定

建地部分を調査区として設定した。調査面積は497平米を割る。

基準座標系設定

磁北を基準とし、調査区全体を3m メッシュで分割した。なお、グリッドの座標系は真北より7度34分40秒西へ傾斜している。なおグリッド名は南西交点で呼称した。調査終了後、旧日本測地系第8系の座標値で基準点の国家座標を算出した。

グリッド原点X00Y00の国家座標

日本測地系 X=22229.652/Y=48565.789

世界測地系 X=22581.134/Y=48848.373

ベンチマーク設定

最寄りのマンホールの標高を用いベンチマークを設定した。

表土除去

試掘調査での遺構検出層理面を参考にしつつ、0.45立米パックホーで掘削した。遺物が出土するか、遺構が明瞭に確認できた場合は試掘調査での遺構検出層理面よりも高い場合でも掘削は中止した。調査区西半では予想されていた層理面よりも数層理面上から多量の石器が出土した為、遺構検出面は高めに設定した。調査区東半は遺物の出土よりも、先に遺構が確認できる場合が多くあった為、調査区西半に比べ低めの設定となった。調査区南東部ではSK005及びSK016が周囲に比べて1層以上上面から確認できた為、調査区東半の中でも島状に1層高く残ることになった。調査区中央では搅乱坑SZ01を確認した。基礎構造にまで達していた為人力での掘削は断念し、重機で掘削した。SZ01は上場のみ記録した後土層観察の為長方形形状に拡張し、TT01として扱った。

横断面設定

重機による表土除去後、調査区壁面の分層を行い、同時に調査区壁面沿いに幅20cm程度の鉛直を1層下の層理面が確認できるまで掘削し、遺構検出層理面の把握に努めた。その後遺構検出層理面までは人力で掘削した。

トレンチ設定

調査区の周全に遺構検出層理面を確認する為の網羅を設定した他、1) 遺構検出層理面が適切かどうかの確認、2) 検出された遺構のプランが適切かどうかの確認、3) 検出が困難な地域において遺構が無いかどうかの確認等を目的とし、適宜設定した。

遺物認定及び回収基準

土壤を除くあらゆる遺物の回収に努めた。各遺物の主な認定基準は以下のとおりである。

石製遺物：人為的意図の想定し得る個体か、もしくは人為的加工痕跡が認められる個体と仮設した。この仮設

定義に従った場合自然礫も回収対象となり得る為、回収基準は人為自然為を問わず割れている個体とした。

土製遺物：人為的意図の想定し得る、被熱によるものと考えられる硬化土と仮設した。従来の土器や土製品等と定義無しに呼称されてきたものに相当するものと考えられる。特に回収基準は設定せず、土製遺物である可能性が認められた個体は全て回収した。

金属製遺物：金属を素材とする個体と仮設した。特に回収基準は設定せず、金属製遺物である可能性が認められた個体は全て回収した。

有機遺物：動物遺存体及び植物遺存体が含まれる。特に回収基準は設定せず、有機物である可能性が認められた個体は全て回収した。

遺物回収方法

遺構検出層理面の確認中に出土した個体は原則としてトータルステーションで三次元座標を記録し取り上げた。遺構検出層理面に到達し遺構が検出された後の遺構削削中においては可能な限り三次元座標記録に努めたが、調査期間等の制約から、遺構内出土位置不明一括遺物として取り上げる場合も多い。トレンチ掘削中に遺物が出土した場合には可能な限りトータルステーションで三次元座標記録をし取り上げたが、一部の多量に遺物が出土したトレンチにおいてはトレンチ内出土位置不明として取り上げを実施した。

遺構認定基準

遺構を任意の土層群と仮設した。掘り込みもしくは落ち込みが本遺跡では主体であった。基盤層の取り残しやしづも原則として遺構と認定し、トレンチを設定した後に欠番とするよう努めた。

遺構検出

最寄りの壁面もしくはトレンチにおける遺構確認層理面を参考にしつつ、検出作業を実施した。本遺跡においては土層の堆積環境に起因するものか検出作業は困難を極めた。

遺構掘削

整理作業での断面投影を考慮し、遺構同士が切り合う場合に可能な限り切り合い部を通るよう断面觀察ベルトを設定するよう努めた。さらに、遺構下場が断面図において層理面として把握できるよう、遺構削断を可能な限り実施した。掘削作業には両刃草カキを用いたが、部分的に小形ピックマットックを用いた。

断面作成

平面図及び断面図共に原則として1/20で作成した。セクションペーパーは2.5mm メッシュのものを用いた。レベリングはmm単位を四捨五入しcm単位で実施した。

写真撮影

記録保存を目的とする緊急発掘調査であることを踏まえ撮影計画を立案した。遺構検出層理面の記録として、調査区壁面及びトレンチの断面を撮影対象とした。

遺構については原則として検出状況、遺構半裁段階での土層断面を撮影することとし、捏造が容易でありかつ情報的に乏しいと考えられる完掘状況については写真撮影は削愛した。

遺物出土状況については、報告書作成階に個体識別が可能な程度で引いたアングルから集合写真を撮影することとしたが、調査後半では時間的制約等から削愛した部分も多い。

3.2 整理作業

3.2.1 基礎整理

記録種選別

図面記録と写真記録に大別し、図面記録はさらに平面図、断面図に分二つした。写真記録は検出状況写真、遺構土層断面写真、遺物出土状況写真に分離した上で管理すべきであったが、一括して管理した。

管理台帳作成

現場段階の記録を平面図、断面図、写真記録の三つに大別し、それぞれに個体識別番号(ID)を与えて管理した。IDを与えた後はそれぞれの管理台帳を作成した。管理台帳の作成には市販の表計算ソフトを用いた。

平面図管理及び写真記録管理については比較的問題は少なかったものの、断面図管理は現場段階における土層記注ミスの影響等から土層対応関係に不明な部分が多くあり、測査区塗面断面図と各遺構断面図の対応関係に不明な点を多く残す結果となった。

遺構統廃合

現場段階で命名ミスがあったものや遺構掘削後に遺構が推定し得たもの等の統廃合を実施した。欠番コードは、0:変更無し、1:欠番、2:欠番替元、3:振替先とした。この過程の情報は遺構一覧に提示した。

ユニット設定

任意の遺構を起点とし、直接的に切り合う遺構のすべてを任意のユニットと仮設した。すなわち、切合を持たない単独遺構もすべてユニット番号を付した。

3.2.1.2 遺物整理

遺物種選別

無機遺物と有機遺物に大別し、無機遺物はさらに石製遺物(L)、土製遺物(P)、金属製遺物(M)に、無機遺物は動物遺存体(OA)、植物遺存体(OP)に細分した。

仮管理台帳作成

石製遺物、土製遺物、金属製遺物、動物遺存体、植物遺存体の各遺物種ごとに遺物管理台帳を作成し、それぞれに個体識別番号(ID)を与えて管理した。

この段階で帰属遺構情報を「遺構1」として保持した。さらに本調査において用いた3種類の遺物取り上げ方法に応じ、(1)遺物平面測量段階での取り上げ(N)、(2)光波トランシットによる取り上げ(T)、(3)遺構やグリッド等を単位とする・取り上げ(-)の3種類に分離し、これらの属性は「遺構2」として保持した。

注記

無機遺物については全個体に個体識別番号を与え、IDのみを注記した。なお、この段階でその後の接合作業による注記欠落を想定し、0.1グラム単位での重量の計測及び、注記確認を目的とする集合写真撮影を実施した。

データベース構築

本調査では市販の表計算ソフトを用いた各管理台帳を作成した段階で市販のデータベースソフトを用いてデータベースへの移行を実施したが、諸説の制約から個別テーブル単位での移行に止まった。

接合

無機遺物について接合作業を実施した。接合関係が確認し得た個体群に対しては先頭個体番号にRを冠して接合番号とした。なお、本調査においては同一母岩/母体資料という概念は異なる似ている/似ていない属性と判断した為割愛した。

属性観察

すべての遺物種ごとに、記録保存の範囲内で事実報告として妥当と考えられる項目を設定し、属性観察を実施した。

実測・トレース

有機遺物は対象外とし、無機遺物について実施した。

石製遺物:接合コード4及び接合コード5の接合資料、すなわち遺構間接合資料のうちで、なおかつ3個体以上のものを対象として実施した。

土製遺物:接合コード5の接合資料は確認し得なかった為、接合コード4の接合資料を対象として実施した。なお仮想原点を設定し得た接合資料については市販のオートトレースソフトを用い、アンカーポイントの座標を計測した。土製遺物の器種分類は現状では見た目の形により成されているものと考えられるが、形状的に似ているか似ていないかという属性は記録保存としては適当ではないものと考えられる。今後オートトレースの設定を統一した上でアンカーポイントの座標値を蓄積することにより、より妥当性の高い定量的分類体系が構築し得るものと考えられる。

金属製遺物:遺構帰属遺物のうちで三次元座標の成された個体を対象とした。初鋳年(の判明している金属製遺物の帰属層準を遺構間土層対比に組み込むことにより、遺構間土層対比の精度向上が見込まれる。

3.2.2 应用整理

データベースによる情報処理

図面記録及び遺物種單位でのテーブル間にに対するクエリは諸般の制約からほとんど作成し得なかったものの、各種主要諸元はほぼ算出し得た。今後遺跡データベースを構築する上で基礎的な構造が得られたものと考えられる。

ベクトライズ

各種管理台帳を作成した後に、図版として使用する画面を派出し、スキーマニングを実施した。スキーマニング後は市販の画像リタッチソフトを使用し画像処理を行い、市販のドローソフトにてベクトライズ作業を実施した。

平面/断面投影

トータルステーションにより三次元座標記録を実施した遺物及び、平面図ドットから三次元座標値を計測した遺物は、フリーウェアソフトを用いて座標変換及び平面/断面投影を実施した。

平面投影後は接合作業により確認し得た接合関係の反映を行ったが、石製遺物は接合関係の多さから接合関係の平面把握は接合コード4及び接合コード5に限定した。

断面投影に際しては断面図中のセクションポイントを優先し平面図のセクションポイントを修正した上で実施したが、本報告書中の平面図のセクションポイントは全て未修正のまま提示した。その為、厳密には平面図と断面図が一致しない部分がある。

遺構間土層対比

分層発掘調査もしくは断面投影により遺物群を遺構内土層単位にまで細分し、遺構切り合ひ関係、すなわち土層堆積順序という通常の関係において、共時的関係としての遺物の接合関係及び、接合関係という共時的関係態内におけるさらにもクロな通時の関係として接合資料分離順序を位置付け、遺跡構造を把握する方法を仮設した。現場段階での土層対応関係把握ミスから本調査では断念せざるを得なかつた。

4. 調査成果

本報告書においては記録保存として得られた情報を可能な限り数値化し、可能な限り簡潔に提示しようと試みた。その為、あえて語るべきことは多くないものと考えられるが、土層(遺構)と遺物の順に概観しておきたい。

4.1 土層(第1表)

本調査では遺構覆土と基盤層の区別が困難な場合が多く、検出作業及び断面等の分層作業は困難を極めた。さらに現場段階における分層作業ミス等もあり、遺構検出手順面が少なくとも2面以上存在した可能性が高かったにも拘わらずその情報は記録保存し得なかった。従って調査区盤面土層断面図と各遺構の土層断面図の対応関係には不明な部分を多く残すこととなった。

第1表 遺構主要諸元

遺構検出手写真枚数(%)	49.0%	遺構数	140	検出状況写真撮影遺構数	69
遺構大差率(%)	17.1%			久多遺構数	24
遺構小差率(%)	11.4%			新田遺構数	16
遺構断面図作成率(%)	78.6%			断面図作成遺構数	110
遺構面写真撮影率(%)	62.1%			断面写真撮影遺構数	87
遺構分離度(遺構数/平米)	0.3			断面高さ(平均)	497
切り合部断面面図率(%)	35.5%			断面写真撮影切り合部数	11
切り合部断面写真撮影率(%)	35.5%			断面写真撮影合計部数	11
平均遺構面積(大差)(m ²)	0.9				

第2表 試掘トレンチ一覧

トレンチ番号	試掘面積
T21	S801SK064SK08
T22	S802SK096

第3表 トレンチ一覧

トレンチ番号	試掘面積	試掘番号	試査区分
T700	d8	0601090104110	0 断面
T701	S801SK070SK025SK11, S812SK035SK15SK040, S806SK07, T22	032035082096, 096, 099	0 (S812)断面土層壁壁面の為
T702	SK11	102	0 (SK11)実立ち上がり壁面の為
T703	SK02	103	0 (SK02)立上がり壁面の為
T704	SK09	104	0 (SK09)立上がり壁面及び基礎地盤の為
T705	SK03	105	0 (SK03)立上がり壁面及び基礎地盤の為
T706		1	0 (T706)立上がり壁面の為
T707	SK026SK208	106	0 (SK026)実立ち上がり壁面及び基礎地盤の為
T708	SK11	107	0 (SK11)立上がり壁面の為
T709	SK063SK02	108	0 (SK063)立上がり壁面の為
T710	S807SK08, SK103	019	0 (S807SK08)立上がり壁面の為
T711			0 (T711)立上がり壁面の為
T712	SK099		0 (SK099)立上がり壁面及び基礎地盤の為
T713		098, 104	0 (T713)立上がり壁面の為
T714	S8031SK032SK022		0 (S8031SK032)立上がり壁面の為
T715		097	0 (T715)立上がり壁面の為
T716		098	0 (T716)立上がり壁面の為
T717	SK029SK12	0105	0 (SK029SK12)立上がり壁面の為
T718			0 (T718)立上がり壁面の為
T719	SK07	012	0 (SK07)立上がり壁面の為
T720		106	0 (T720)立上がり壁面の為
T721		107	0 (T721)立上がり壁面の為
T722			0 (T722)立上がり壁面の為
T723	SK074SK103, SK088	0166	0 (SK074SK103)立上がり壁面及び基礎地盤の為
T724	SK024SK040SK098	0177	0 (SK024SK040SK098)立上がり壁面の為
T725	SK08, SK098	0188	0 (SK08, SK098)立上がり壁面の為
T726	SK08		0 (T726)立上がり壁面の為
T727	SK11	098, 104	0 (SK11)立上がり壁面の為
T728	SK025	096	0 (SK025)立上がり壁面の為
T729	SK099	098, 095	0 (SK099)立上がり壁面の為
T730	SK004, SK112		0 (SK004, SK112)立上がり壁面の為
T731	SK4, SK046, SK096	006, 084	0 (SK4, SK046, SK096)立上がり壁面の為
T732	SK07, SK13	011	0 (SK07, SK13)立上がり壁面の為
T733	SK13		0 (SK13)立上がり壁面の為
T734	SK079	077	0 (SK079)立上がり壁面の為
T735	SK068SK071	067	0 (SK068SK071)立上がり壁面の為
T736	SK11	108	0 (SK11)立上がり壁面の為
T737	SK04		0 (T737)立上がり壁面の為
T738			0 (T738)立上がり壁面の為
T739		109	0 (T739)立上がり壁面の為
T740	SK7SK046SK092	099	0 (SK7SK046SK092)立上がり壁面の為
T741	SK001SK11	001	0 (SK001SK11)立上がり壁面の為
T742	SK02	110	0 (SK02)立上がり壁面の為
T743	SK08	020	0 (SK08)立上がり壁面の為
T744	SK04	090	0 (SK04)立上がり壁面の為
T745	SK0SK046SK108	015	0 (SK0SK046SK108)立上がり壁面の為

そのような状況の中で本調査では、SB(住居址)5、SK(土坑)76、SQ(遺物集中)4、SX(落ち込み)5、SZ(撓乱)10、総計140の遺構を確認した。

各遺構の機能推定や、未だ仮設レベルに止まるものと考えられる土器式を用いた時期推定は事実報告の範囲外と判断し、本報告書では可能な限り割愛した。ただし、遺構構成土層群に帰属し、かつ初鎌年(1017年)以降に、SK087は1064年に墳没したことまでが事実として記載し得る。なお、その他の遺構に帰属しない銅状金屬製の初鎌年は1009年から1111年となっている。

引用・参考文献

人田圭祐 2003「石器」「平田本郷遺跡4・5」松本市教育委員会 pp62~pp85

遺構主要諸元

遺構数：検出された遺構の数。遺構統合後の値を示した。
 検出状況写真撮影構数：検出状況写真が撮影された遺構の数。
 少々過構数：振替コード1に該当する遺構の数。
 振替構造数：振替コード及び振替コード3に該当する遺構の数。
 断面図作成数：断面図が作成された遺構の数。
 断面写真撮影構数：断面写真が撮影された遺構の数。
 遺構切り合部数：遺構が切り合う部分の数。
 切合部断面図作成数：1本以上断面図が作成された切り合部の数。
 切合部断面写真撮影数：1枚以上断面写真が撮影された切り合部の数。

遺構現存最大長：遺構が切り合う部分の数。各遺構につき現存部分での最大長を0.1m単位で計測した。

ID	層番	色別	明/暗	工作粒子	粒度(μm)	堆積量 kg/m ³	堆積量 kg/m ³	含まれる土質
066	9	25Y 4/3	暗	粘土	2~15	1%		
	10	25Y 4/3	暗	粘土	2~15	2%		
	11	25Y 4/3	暗	粘土	2~15	0%		
	93	SY 5/1	暗	粘土	2~30	1%		
94	25Y 5/2	暗	粘	粘土		0%		
95	25Y 5/2	暗	粘	粘土		0%		
96	25Y 5/2	暗	粘	粘土		0%		
97	10YR 4/3	暗	砂	砂		0%		
98	25Y 4/3	暗	砂	砂		0%		
99	10YR 4/3	暗	砂	砂		0%		
100	10YR 4/3	暗	砂	砂		0%		
101	25Y 4/3	暗	砂	砂		0%		
102	25Y 4/3	暗	砂	砂	2~50	30%		
103	25Y 4/3	暗	砂	砂	2~50	30%		
104	SY 5/1	暗	砂	砂	5~30	1%		
104	SY 5/1	暗	砂	砂	5~30	3%		
105	SY 6/5	暗	砂	砂	10	1%		
106	25Y 5/2	暗	砂	砂	5~30	2%		
106	25Y 5/2	暗	砂	砂	5~30	1%		
107	25Y 4/3	暗	砂	砂	5~65	50%		
108	25Y 4/3	暗	砂	砂	5~65	1%		
109	25Y 4/3	暗	砂	砂	5~65	1%		
110	10YR 4/3	暗	砂	砂	5~10	3%		
111	25Y 4/2	暗	砂	砂	5	1%		
112	10YR 5/3	暗	砂	砂	10~30	5%	10YR_1112	
113	25Y 4/3	暗	砂	砂	3~10	5%	10YR_1114	
115	25Y 5/2	暗	砂	砂	3~10	1%	10YR_1115	
UK19	---	---	---	---	---	---	---	---
UK38	---	---	---	---	---	---	---	---
UK39	---	---	---	---	---	---	---	---
067	1	10YR 4/2	暗	砂		1%	066_73057_07	
	2	25Y 5/1	暗	砂		1%	066_07128_07	SX062
	3	25Y 5/1	暗	砂		1%	066_08077_3	SX063
	4	25Y 4/3	暗	砂	10~30	1%		
	1	25Y 4/2	暗	砂	5~10	5%	SX063	
	1	25Y 4/2	暗	砂	5~10	5%	SX064	
070	1	25Y 5/2	暗	砂			SX065	
2	25Y 5/2	暗	砂			SX065		
071	1	25Y 5/1	暗	砂	20%強	2%	SX066	
	1	25Y 5/1	暗	砂	5~10	1%	SX066	
073	1	25Y 5/1	暗	砂	20%強	2%	SX067	
074	1	25Y 5/1	暗	砂	20%強	1%	SX067	
075	1	25Y 4/3	暗	砂			SX074	
076	1	25Y 5/2	暗	砂	2~15	1%		
2	25Y 5/2	暗	砂	2~15	2%	SX076		
3	25Y 5/2	暗	砂	2~15	1%	SX076		
077	1	10YR 4/2	暗	砂	30~50	1%	066_73057_1	
	2	25Y 4/3	暗	砂	5~10	1%		
	3	25Y 4/3	暗	砂	10~50	1%	066_08067_3	SX079
078	1	25Y 5/2	暗	砂	20%強	1%	SX080	
2	25Y 5/2	暗	砂	5~10	5%	SX080		
079	1	10YR 5/3	暗	砂	2~15	1%		
2	25Y 4/3	暗	砂	5~10	1%			
3	25Y 5/3	暗	砂	5~10	1%	SX086		
080	1	25Y 5/2	暗	砂	20%強	2%	SX087	
2	25Y 4/4	暗	砂	5~30	3%	SX087		
3	25Y 5/2	暗	砂	5~40	10%	SX087		
081	1	10YR 4/2	暗	砂			SX088	
082	1	25Y 5/3	暗	砂	6%強	15%	SX089	
	2	25Y 5/2	暗	砂	6%強	1%	SX089	
083	1	25Y 5/2	暗	砂	2~10	3%	SX090	
2	25Y 5/2	暗	砂	2~10	1%	SX090		
084	1	25Y 4/4	暗	砂	2~10	1%	SX098	
085	1	SY 5/4	暗	砂	2~10	1%	SX099	
2	SY 5/4	暗	砂	2~10	1%	SX099		
3	7SY 5/2	暗	砂	2~10	1%	SX099		
4	SY 5/3	暗	砂	2~10	1%	SX099		
086	---	---	---	---	---	---	---	---
UK20	---	---	---	---	---	---	---	---
UK21	---	---	---	---	---	---	---	---
UK22	---	---	---	---	---	---	---	---
UK23	---	---	---	---	---	---	---	---
087	1	10YR 3/5/2	暗	砂	50~200	50%	066_1	SQ1
2	25Y 5/1	暗	砂	5~10	5%	SQ2		
3	7SY 5/1.5	暗	砂	5~10	5%	066_2096_2110_3		
4	10YR 4/2	暗	砂	20~40	1%	066_4110_26		
088	1	10YR 3/5/2	暗	砂	50~200	50%	067_1	SQ2

ID	層番	色別	明/暗	工作粒子	粒度(μm)	堆積量 kg/m ³	堆積量 kg/m ³	含まれる土質	同一土層	含まれる種々
088	2	25Y 4/3	暗	砂	5~10	10%	5~10	10%	067_2	SQ2
	3	25Y 5/1.5	暗	砂	20~40	5%	20~40	5%	067_2096_2110_2	
089	1	SY 5/3	暗	砂	2~5	2%	2~5	2%	068_1	SQ3
	2	SY 4/3	暗	砂	2~5	2%	2~5	2%	068_1	SQ3
090	3	25Y 4/2	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_2096_2109_3	
	4	SY 4/2	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_2096_2109_3	
091	1	25Y 4/3	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
	2	SY 5/3	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
	3	25Y 6/3	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
	4	SY 6/3	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
	5	SY 5/2	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
092	6	SY 5/3	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
	7	25Y 6/3	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
093	1	25Y 4/3	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
	2	SY 5/3	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
	3	25Y 6/3	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
	4	SY 6/3	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
	5	SY 5/2	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
094	6	SY 5/3	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
	7	25Y 6/3	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
095	1	25Y 4/3	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
	2	SY 5/3	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
	3	25Y 6/3	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
	4	SY 6/3	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
	5	SY 5/2	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
096	6	SY 5/3	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
	7	25Y 4/1	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
	8	25Y 5/1.5	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
097	1	10YR 4/2	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
	2	SY 5/3	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
	3	25Y 5/2	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
	4	SY 5/2	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
098	5	SY 5/1	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
	6	25Y 5/1.5	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
	7	10YR 4/1	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
099	8	SY 5/2	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
	9	25Y 5/2	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
	10	SY 5/2	暗	砂	5~10	40%	5~10	40%	068_4005_4006_4007_4008_4009_4010_4011_4012	SX11
100	1	10YR 3/5/2	暗	砂	50~200	50%	067_1	SQ1		
	2	25Y 5/1	暗	砂	5~10	5%	SQ2			
	3	7SY 5/1.5	暗	砂	5~10	5%	066_2096_2110_3			
	4	10YR 4/2	暗	砂	20~40	1%	066_4110_26			
101	1	10YR 3/5/2	暗	砂	50~200	50%	067_1	SQ2		

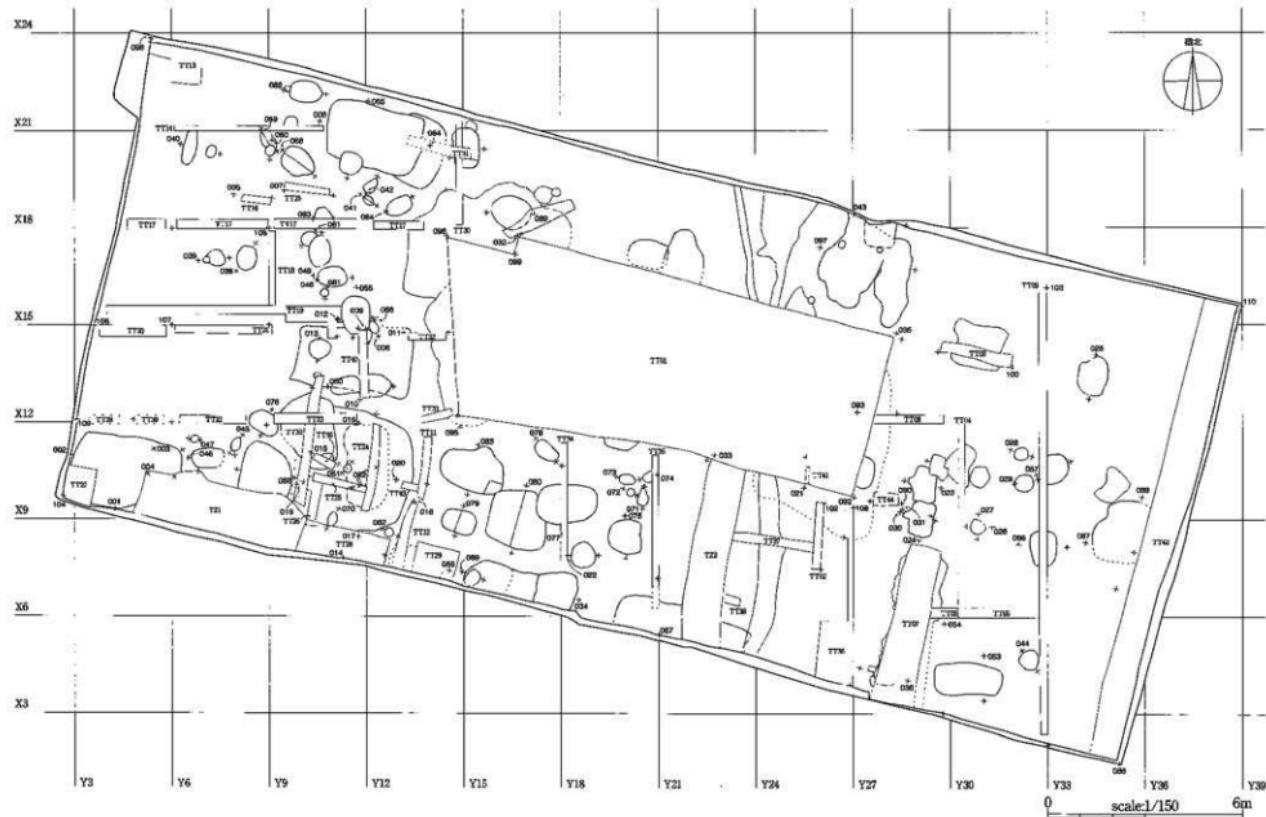
第6表 連携一覧

番号名	属性	属性(文書番号)	機器番号	西暦ID	Unit番号	安全実施数	始点番号	切られる連携	周辺適合連携	現在値(最大)
S001	0	-	-	001.002.001.004	Unit17	0	-	-	-	39
S002	1	取り扱いしきみ	-	-	-	0	-	-	-	-
S003	1	取り扱いしきみ	-	-	-	0	-	-	-	-
S004	1	0	-	006.005.(EV)	Unit01	2	S005	SK061	-	32
S005	1	0	-	006	Unit01	2	SK04	SK061	-	24
S006	2	土壤	-	S005	-	0	-	-	-	-
S007	0	0	-	008.009.010.011.012.013	Unit05	2	-	SK04.5.S003	-	40
S008	0	0	-	014.015.016.017.018.019	Unit05	6	S003	SK04.5.SK047.SK048	-	44
S009	0	0	-	-	-	-	-	SK005.SK103	-	-
S010	0	火葬場	-	021	Unit09	2	S011	-	SK025	68
S011	1	取り扱いしきみ	-	-	-	0	-	-	-	-
S012	1	0	-	022	Unit16	0	-	-	-	68
S013	1	取り扱いしきみ	-	-	-	0	-	-	-	-
S014	1	取り扱いしきみ	-	(25)	Unit19	0	-	-	-	11
S015	1	SD09に適合	-	S006	-	0	-	-	-	-
S016	1	火葬場	-	(26).027	Unit20	0	-	-	-	55
S017	1	取り扱いしきみ	-	-	-	0	-	-	-	-
S018	1	0	-	(28)	Unit21	0	-	-	-	64
S019	-	2 混乱	-	S025	-	0	-	-	-	-
S020	1	0	-	(29)	Unit22	0	-	-	-	68
S021	1	火葬場	-	(29)	Unit23	0	-	-	-	11
S022	1	火葬場	-	(29).030	Unit24	1	-	SK025	-	12
S023	-	2 亂ら込み	-	S024	Unit25	0	-	-	-	-
S024	1	火葬場	-	-	-	0	-	-	-	-
S025	1	火色差?	-	033	Unit24	0	-	-	-	11
S026	1	0	-	024.(EV)	Unit26	3	S004	SK025.5.0064	-	13
S027	0	0	-	024.(EV)	Unit26	3	S004	SK001	-	18
S028	0	2 火葬場	-	S025	Unit27	0	-	-	-	-
S029	1	火葬場	-	-	-	0	-	-	-	-
S030	1	火葬場	-	035	Unit27	2	S011	SK001	-	10
S031	1	火葬場	-	-	-	0	-	-	-	-
S032	1	火葬場	-	036	Unit28	0	-	-	-	10
S033	1	火葬場	-	038	Unit28	0	-	-	-	68
S034	1	未完形	-	041	Unit28	0	-	-	-	62
S035	1	0	-	042	Unit29	1	-	SK025	-	66
S036	0	0	-	043	Unit29	1	-	SK025	-	62
S037	0	0	-	044	Unit29	1	-	SK001	-	66
S038	1	0	-	045	Unit30	0	-	-	-	55
S039	1	0	-	046	Unit34	0	-	-	-	10
S040	1	0	-	047	Unit35	0	-	-	-	63
S041	1	0	-	048	Unit31	1	SK007	-	-	10
S042	1	0	-	049	Unit36	0	-	-	-	69
S043	1	1 取り扱いしきみ	-	-	-	0	-	-	-	-
S044	1	1 取り扱いしきみ	-	-	-	0	-	-	-	-
S045	1	0	-	050	Unit29	2	S017	SK001	-	19
S046	1	0	-	015	Unit30	6	SK025.5.S005	SK001	-	65
S047	1	0	-	051	Unit35	6	S028	-	SK008	0.3
S048	1	0	-	052	Unit35	6	S028	-	SK046.5.S004.5.S005	0.3
S049	1	1 取り扱いしきみ	-	-	-	0	-	-	-	-
S050	0	-	-	053.054	Unit37	0	-	-	-	21
S051	0	-	-	-	Unit36	1	-	SK031.5	-	18
S052	1	火葬場	-	010.011.006	Unit32	2	S017	SK045	-	19
S053	0	0	-	(57).02	Unit38	-	-	-	-	11
S054	1	火葬場	-	056	Unit39	0	-	-	-	18
S055	1	0	未完形	059	Unit39	1	-	SK056	-	68
S056	1	0	未完形	060	Unit37	1	-	SK025	-	53
S057	1	0	-	061	Unit31	1	-	SK041	-	25
S058	1	0	-	062	Unit40	0	-	-	-	53
S059	1	0	-	063	Unit31	0	-	-	-	55
S060	1	0	-	064	Unit32	0	-	-	-	59
S061	1	0	-	065	Unit31	2	S014	S005	-	67
S062	1	0	SK008と同一連携の可能性あり	067	Unit32	0	-	-	-	28
S063	0	0	未完形	068	Unit44	0	-	-	-	11
S064	0	0	-	034.(EV).069	Unit26	3	S0022	SK002.5.SK004	-	65
S065	0	0	-	070	Unit33	6	S028	SK006.5.SK047.5.SK048	-	65
S066	0	0	SK008と同一連携の可能性あり	-	Unit45	0	-	-	-	14
S067	1	1 取り扱いしきみ	-	-	-	0	-	-	-	-
S068	1	0	-	071	Unit46	0	-	-	-	56
S069	1	0	-	072	Unit47	0	-	-	-	53
S070	1	0	-	073	Unit48	0	-	-	-	55
S071	1	0	-	074	Unit49	0	-	-	-	61
S072	0	1 取り扱いしきみ	-	-	-	0	-	-	-	-
S073	1	1 取り扱いしきみ	-	-	-	0	-	-	-	-
S074	0	0	-	075	Unit50	0	-	-	-	11
S075	0	1 取り扱いしきみ	-	-	-	0	-	-	-	-
S076	0	0	-	016.079	Unit51	0	-	-	-	10
S077	1	1 ばし(遺體で漏泄)	-	-	-	0	-	-	-	-

機器名	機器番号	部品番号	部品名	組合せ機器	切られる基板	組合せ基板	現存倉庫大数(枚)
機器名 機器番号(欠品理由)							
SK009 0 1 取り残し欠けみ				Uu007	0 -	SK006	19
SK009 0 0 -				Uu008	2 SK007	-	08
SK009 0 0 -				Uu009	0 -	-	-
SK009 0 2 未完脚			-SX13	-	0 -	-	-
SK009 0 2 未完脚			-SX13	-	0 -	-	-
SK009 0 2 未完脚			-SX13	-	0 -	-	-
SK009 0 0 -			-	Uu006	3 -	SK001/SK002	08
SK009 0 1 取り残し欠けみ			-	Uu007	0 -	-	-
SK009 0 0 取り残し			-	Uu008	0 -	-	11
SK009 0 0 完成脚			-	Uu009	2 SK006	SK007	18
SK009 0 0 -			-	Uu010	0 -	-	02
SK009 0 1 取り残し欠けみ			-	Uu011	0 -	-	-
SK009 0 1 取り残し欠けみ			-	Uu012	0 -	-	-
SK009 0 1 取り残し欠けみ			-	Uu013	0 -	-	-
SK009 0 0 -			-	Uu014	1 SK007	-	-
SK009 0 0 -			-	Uu015	4 SX12	SK004	05
SK009 0 0 完成脚			-	Uu016	4 SX12	SK003/SK004/SK003	03
SK009 0 0 完成脚			-	Uu017	2 -	SK007	02
SK009 0 0 完成脚			-	Uu018	1 SK007	-	12
SK009 0 0 完成脚			-	Uu019	1 -	SK006	64
SK009 0 0 完成脚			-	Uu020	6 -	SK004/SK004/SK004/SK004/SK004/SK005	26
SK009 0 0 SPART			-	Uu021	6 -	SK006/SK007	23
SK009 0 0 -			-	Uu022	0 -	-	-
SK009 0 0 20001025命名			-	Uu023	3 SX14	SK006/SK10	02
SK009 0 0 20001026命名			-	Uu024	3 SX14	SK006/SK10	02
SK009 0 0 20001026命名			-	Uu025	1 SX15	SK006/SK10	02
SK009 1 3 20001025命名	S004-	Uu026	6 SX16	Uu027	SK004	SK002/SK003/SK005/SK006/SK007	23
SK010 0 0 -			-	Uu028	0 -	-	-
SK010 0 0 -			-	Uu029	0 -	-	11
SK010 0 0 -			-	Uu030	0 -	-	22
SK010 1 0 -			-	Uu031	0 -	-	13
SK010 0 0 -			-	Uu032	4 SX13	SK005/SK004/SK003	04
SK010 0 0 -			-	Uu033	0 -	-	-
SK010 2 離乳			-S211	-	0 -	-	-
SK010 2 離乳			-S212	-	0 -	-	-
SK010 2 離乳			-S213	-	0 -	-	-
SK010 2 離乳			-S214	-	0 -	-	-
SK010 1 1 ほし(直感で離乳)			-	-	-	-	-
SK010 2 離乳			-S206	-	0 -	-	-
SK010 2 離乳			-S207	-	0 -	-	-
SK010 2 離乳			-S208	-	0 -	-	-
SK010 2 離乳			-S209	-	0 -	-	-
SK010 2 離乳			-S210	-	0 -	-	-
SK11 1 0 完成脚		02105.020203.006	Uu037	2 -	SK001/SK002	-	53
SK11 0 0 完成脚		020105.020406.006	Uu038	4 -	SK003/SK004/SK003	SK004	53
SK11 0 0 完成脚		0200105.020406.006	Uu039	4 SX12	SK005/SK004/SK003	-	46
SK14 1 3 20001025命名	S0017/S0018	0431097	Uu040	2 SK006	SK010/SK10	-	38
SK14 1 3 20001025命名	S0023	032	Uu041	1 -	SK002	-	10
SK009 0 3 重複で削除の操作で削除	S001-	-	0 SK001/SK002/SK003	SK001/SK002/SK003	-	-	-
SK009 0 3 重複で削除の操作で削除	S003-	036	0 SK006	SK005/SK004/SK003	SK005/SK004/SK003/SK002	-	-
SK009 0 3 重複で削除の操作で削除	S004-	-	0 SK006/SK011	S201	SK005/SK004/SK003/SK002/SK001/SK002/SK003	-	-
S202 0 3 -	S002-	100	0 -	-	-	-	-
S203 0 3 -	S003-	036	0 SK006	-	-	-	-
S204 0 3 -	S004-	-	0 SK006/SK011	S201	SK005/SK004/SK003/SK002/SK001/SK002/SK003	-	-
S205 1 3 -	S0019-	-	0 -	-	-	-	-
S206 0 3 -	S006-	036	0 -	-	-	-	-
S207 0 3 -	S007-	036	0 -	-	-	-	-
S208 0 3 -	S008-	-	0 SX12/SQ4	-	-	-	-
S209 1 3 -	S009-	-	0 SK10	-	SK005/SK004	-	-
S210 1 3 -	SX10-	-	0 SK006	S209	SK005	-	68
測定値と保管倉庫大数(枚)							

第7表 ユニット一覧

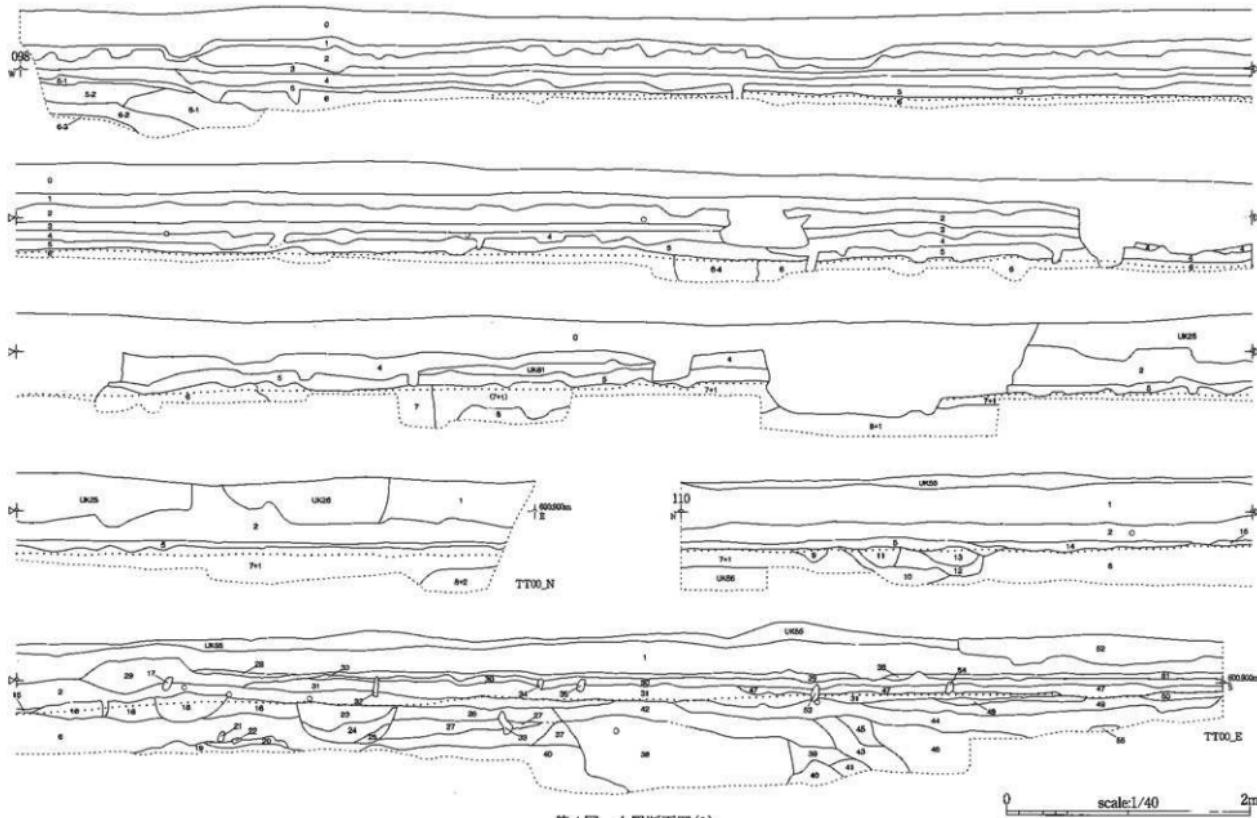
ユニット番号	構成部品	過渡切り合い関係	ユニット番号	構成部品	過渡切り合い関係
Unit01	SK005/SK006	S004-S004-SK006	Unit08	SK005/SK005	S006-SK006
Unit02	SK005/SK006/SK002	S007-SK005-SK002	Unit09	SK006/SK007/SK010/SK11	S008-SK008-SK14-(SK100-SK101)
Unit03	SK005/SK006/SK004	S008-SK008-SK004/SK004/SK005/SK006/(SK103-SK104)	Unit10	SK004/SK005/SK006	S007-SK007-SK006
Unit04	SK005/SK006/SK006	S009-SK009-SK006	Unit11	SK004/SK005/SK006	S007-SK007-SK006
Unit05	SK005/SK005/SK005	S003-SK010	Unit12	SK007/SK008/SK009	S008-SK008-SK009
Unit06	SK005/SK005/SK005	S003-SK010	Unit13	SK007/SK008/SK009	S008-SK008-SK009
Unit07	SK005/SK005/SK004/SK004	S004-SK004/SK004	Unit14	SK005/SK004/SK003/SK003	SX12-SX12-(SK003-SK004)/SK03/SK10
Unit08	SK005/SK005/SK004/SK004	SX11-SK001/SK002	Unit15	SK006/SK007/SK007	S009-SK009-SK008
Unit09	SK005/SK005	SX009-SK008	Unit16	SK005/SK004/SK003/SK003	SX12-SX12-(SK003-SK004)/SK03/SK10



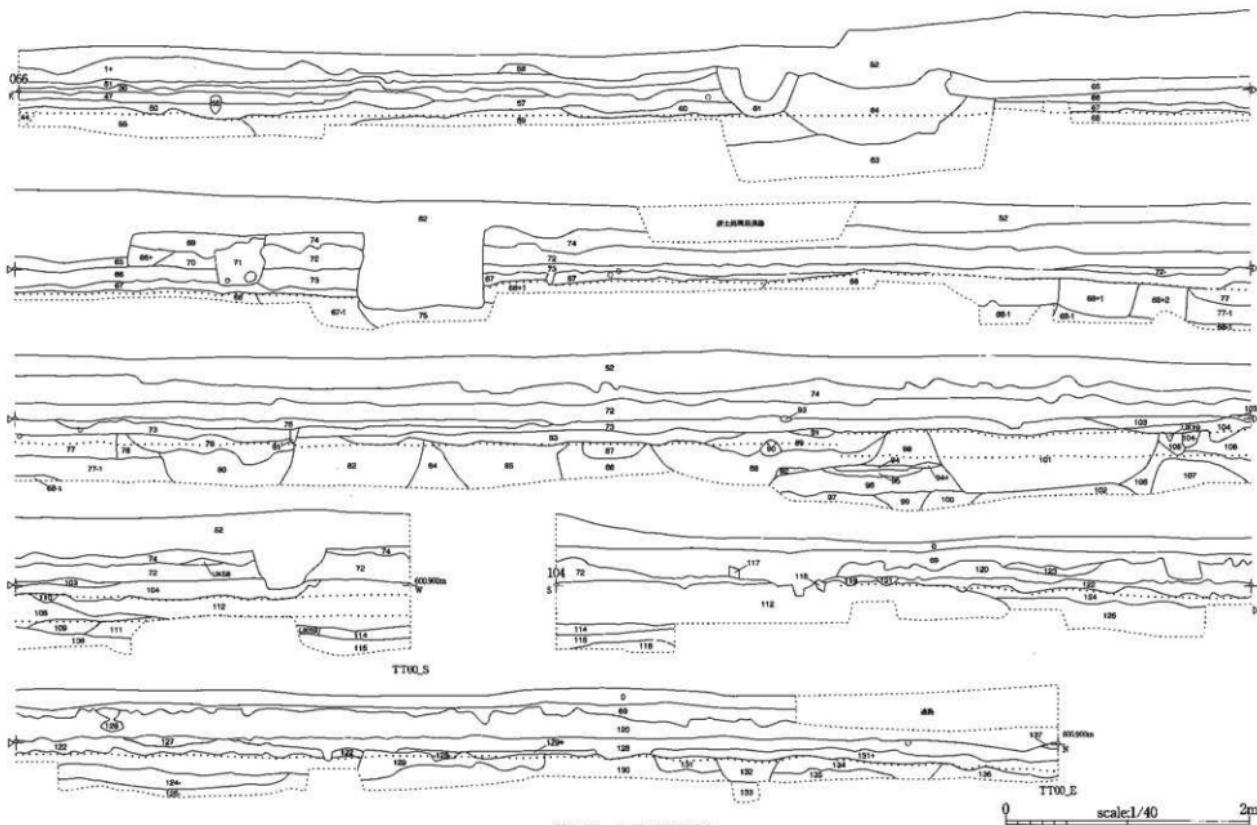
第2図 トレンチ及びセクションポイント配置図



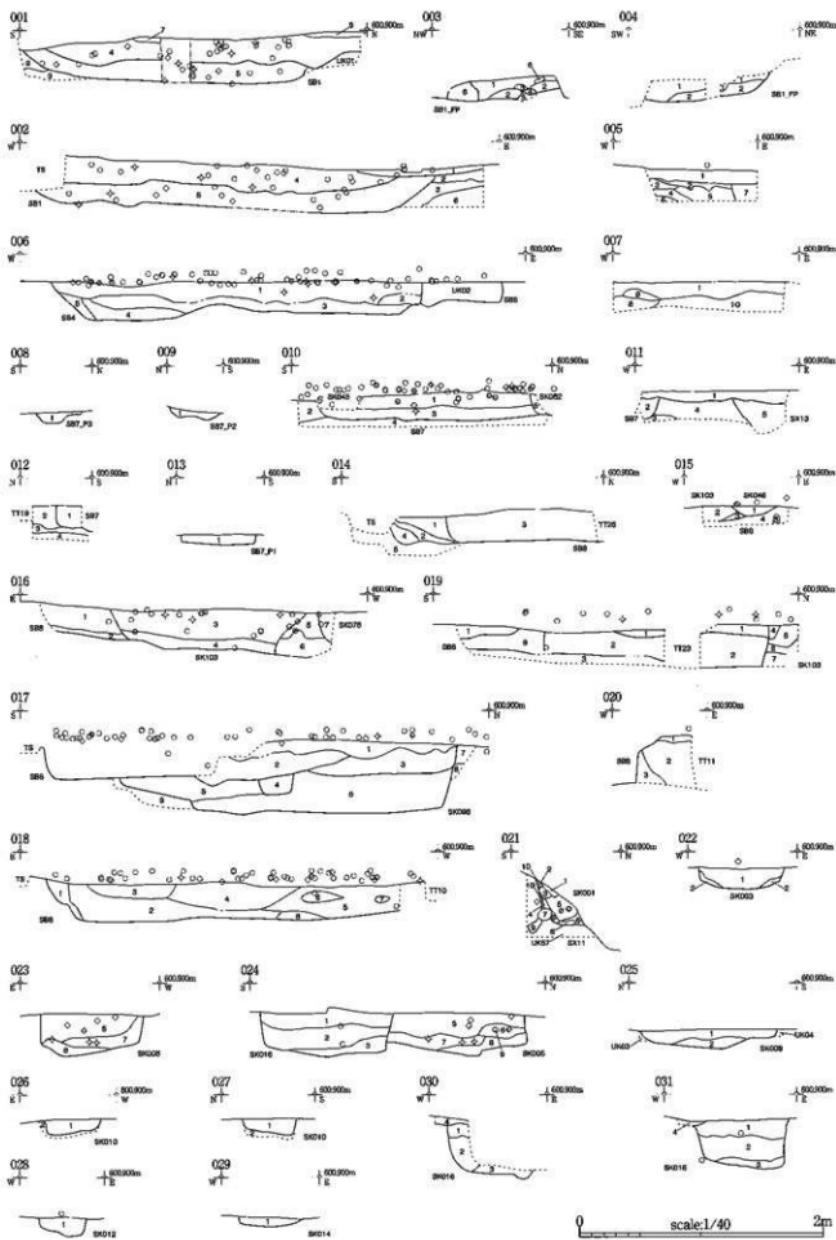
第3図 遺構分布図



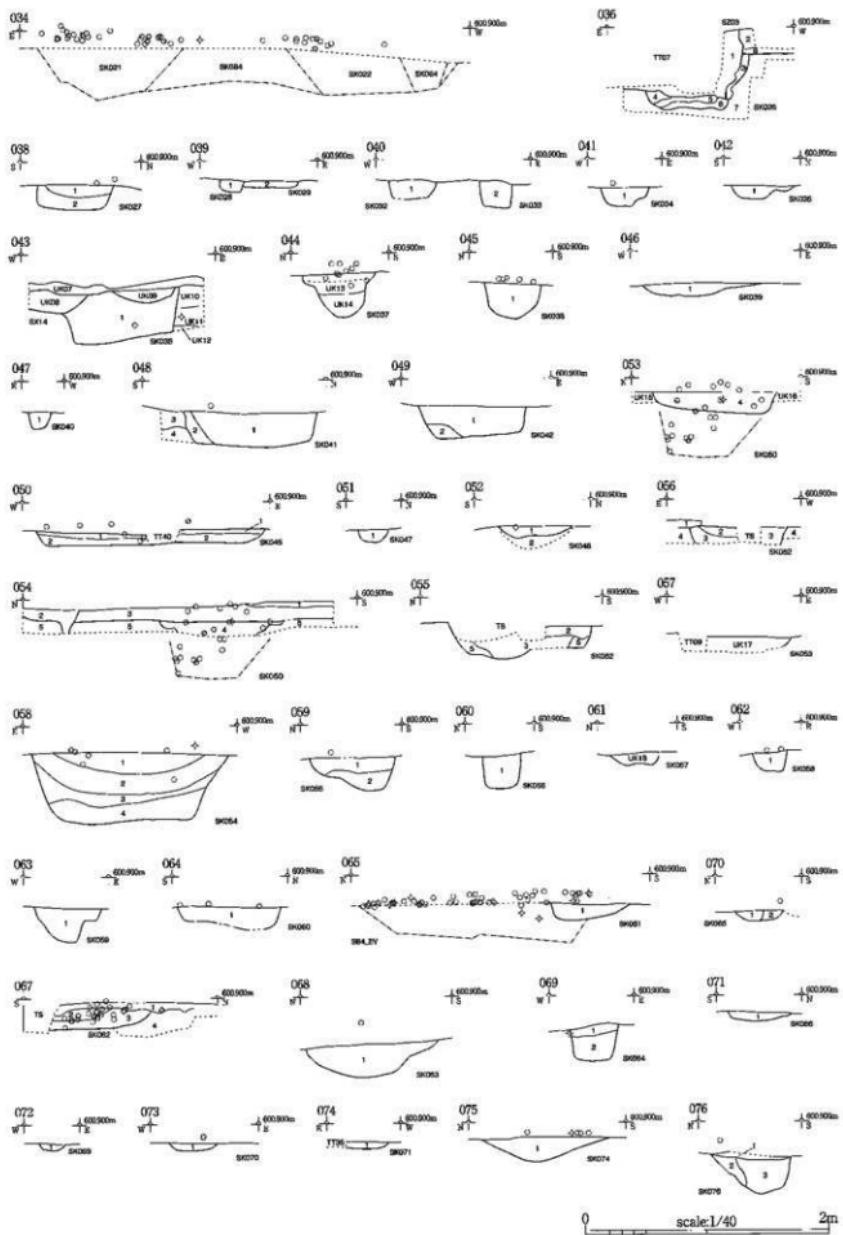
第4図 土層断面図(1)



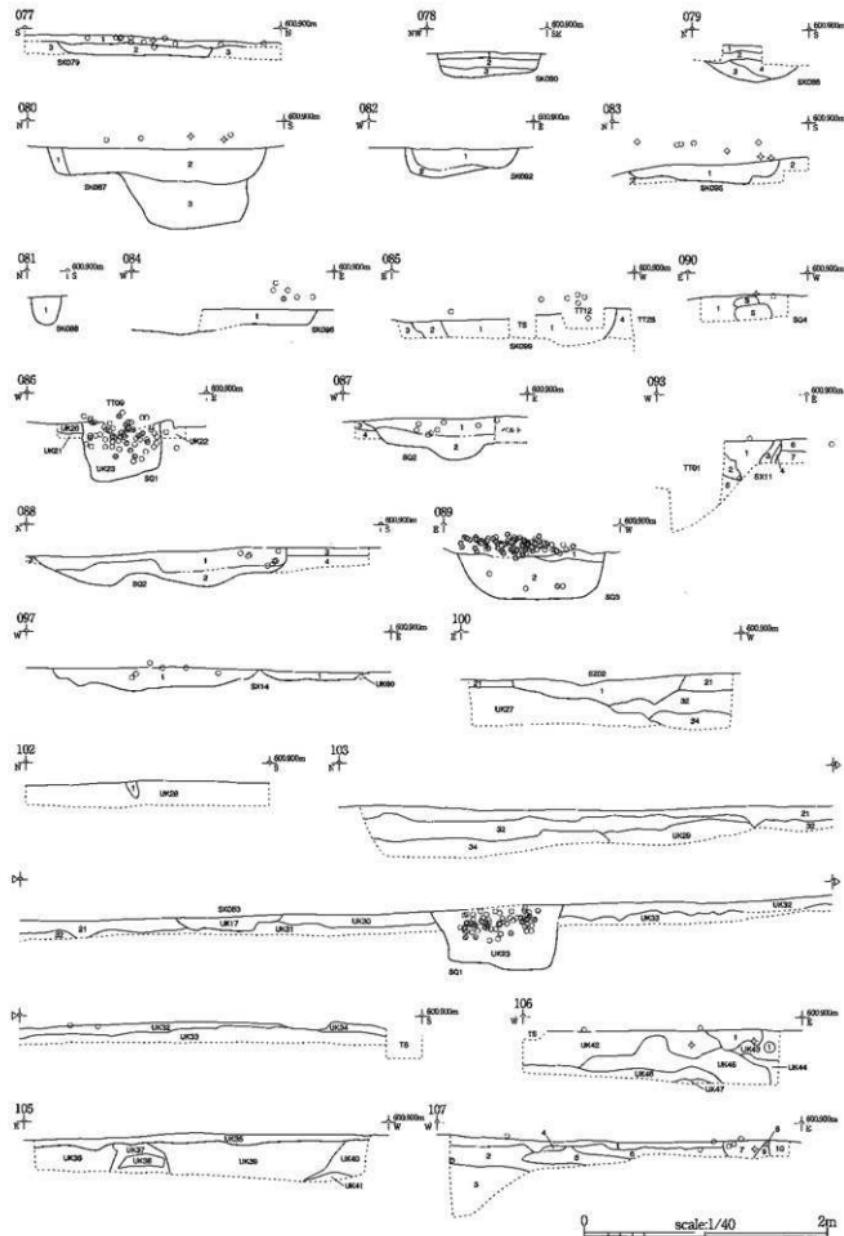
第5図 土層断面図(2)



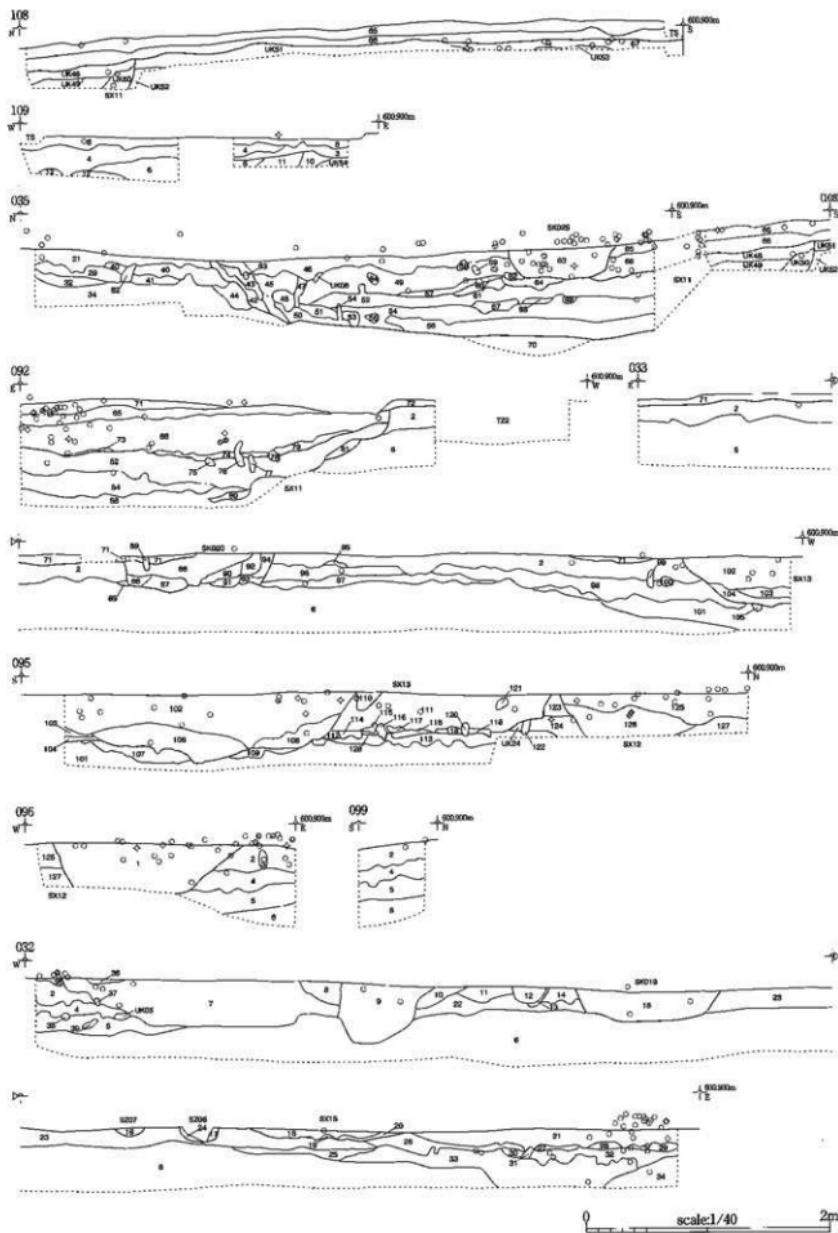
第6図 土層断面図(3)



第7図 土層断面図(4)



第8図 土層断面図(5)



第9図 土層断面図(6)

4.2. 遺物

本報告書では、遺物を無機遺物と有機遺物に大別した。以下順に概要しておきたい。

4.2.1. 無機遺物

本調査では無機遺物を石製遺物、土製遺物、金属製造物に大別した。497 平米を溝の調査区より、総個体数 3523 点、総重量 1,002,616.1g にのぼる膨大な無機遺物を回収した。無機遺物全体での三次元座標記録率は 36.8% であった。

144 人に及ぶ接合作業の結果、接合資料 321 例、総接合個体数 929 点(平均接合個体数 2.9 点)を確認し、最終的な接合率は 26.4% となった。遺構掘削段階における括取り上げの多用により断面投影による層属層準推定個体数は 92 点(0.03%)に止まった。その為接合接合資料も平面分布関係を示すのみのものが多く、遺構間土層対比は断念せざるを得なかった。

接合資料は石製遺物及び土製遺物に認められた。両接合資料共にかなり複雑な分布状況が認められるが、それらの平面分布には偏りが存在するものと考えられる。

第 8 表 石製遺物主要諸元

総回収個体数	3176	総重量(g)	998,694
発現率(%)	72.5%	発現件数	3173
発合率(%)	27.5%	発合個体数	871
平均接合個体数	3.0	接合資料数	256
石製物分布密度(点/平米)	64	調査面積(平米)	497
三次元座標記録率(%)	31.2%	三次元座標記録資料数	1096
堆積層準定義率(%)	0.1%	堆積層準定義個体数	34
遺構比率(%)	73.9%	遺構層準定義件数	2246
欠番率(%)	0.1%	欠番個体数	3
実測率(%)	0.01%	実測個体数	23
平均水平接合距離(m)	1.275	平均重量(g)	3147
平均垂直接合相対距離(m)	0.038	平均個体長(cm)(1.8g/立塊)	5.6

第 9 表 土製遺物主要諸元

総回収個体数	234	総重量(g)	3,181.8
平均個体率(%)	74.9%	平均個体数	231
後合率(%)	25.1%	後合個体数	58
平均接合個体数	2.2	接合資料数	26
1:5 断面物分布密度(点/平米)	0.5	調査面積(平米)	497
三次元座標記録率(%)	54.1%	三次元座標記録個体数	125
堆積層準定義率(%)	12.2%	堆積層準定義個体数	28
遺構比率(%)	40.3%	遺構層準定義件数	93
欠番率(%)	1.3%	欠番個体数	3
実測率(%)	0.6%	実測個体数	13
平均水平接合距離(m)	1.846	平均重量(g)	13.8
平均垂直接合相対距離(m)	0.021	平均個体長(立塊)	未算出

第 10 表 金属製造物主要諸元

総回収個体数	125	総重量(g)	774.9
平均個体率(%)	100.0%	平均個体数	119
接合率(%)	0.0%	接合個体数	0
平均接合個体数	0.0	接合資料数	0
金属性製物分布密度(点/1' 平米)	0.2	調査面積(平米)	497
三次元座標記録率(%)	72.3%	三次元座標記録個体数	86
堆積層準定義率(%)	25.2%	堆積層準定義個体数	30
遺構比率(%)	40.5%	遺構層準定義件数	48
欠番率(%)	4.8%	欠番個体数	6
実測率(%)	15.1%	実測個体数	18
平均水平接合距離(m)	0.000	平均重量(g)	6.5
平均垂直接合相対距離(m)	0.000	平均個体長(立塊)	未算出

第 11 表 無機遺物主要諸元

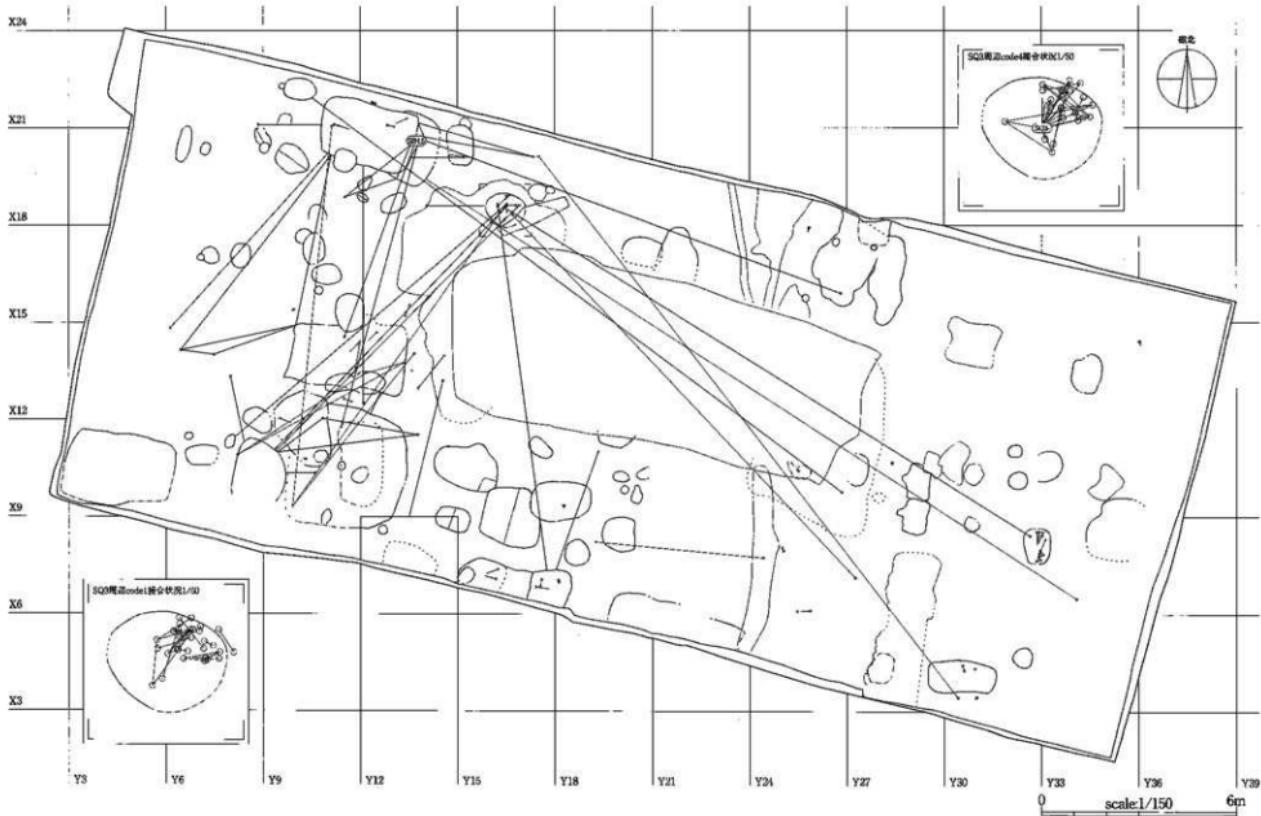
総回収個体数	3535	総重量(g)	1,002,616.1
発現率(%)	72.6%	発現件数	3532
発合率(%)	26.4%	発合個体数	929
平均接合個体数	2.9	接合資料数	321
石製物分布密度(点/平米)	7.1	調査面積(平米)	497
三次元座標記録率(%)	36.8%	三次元座標記録資料数	1297
堆積層準定義率(%)	0.03%	堆積層準定義個体数	92
遺構比率(%)	70.0%	遺構層準定義件数	2487
欠番率(%)	0.3%	欠番個体数	12
実測率(%)	0.02%	実測個体数	51
平均水平接合距離(m)	1.335	平均重量(g)	284.6
平均垂直接合相対距離(m)	0.036	平均個体長(立塊)	未算出

第 12 表 無機遺物遺構単位接合率

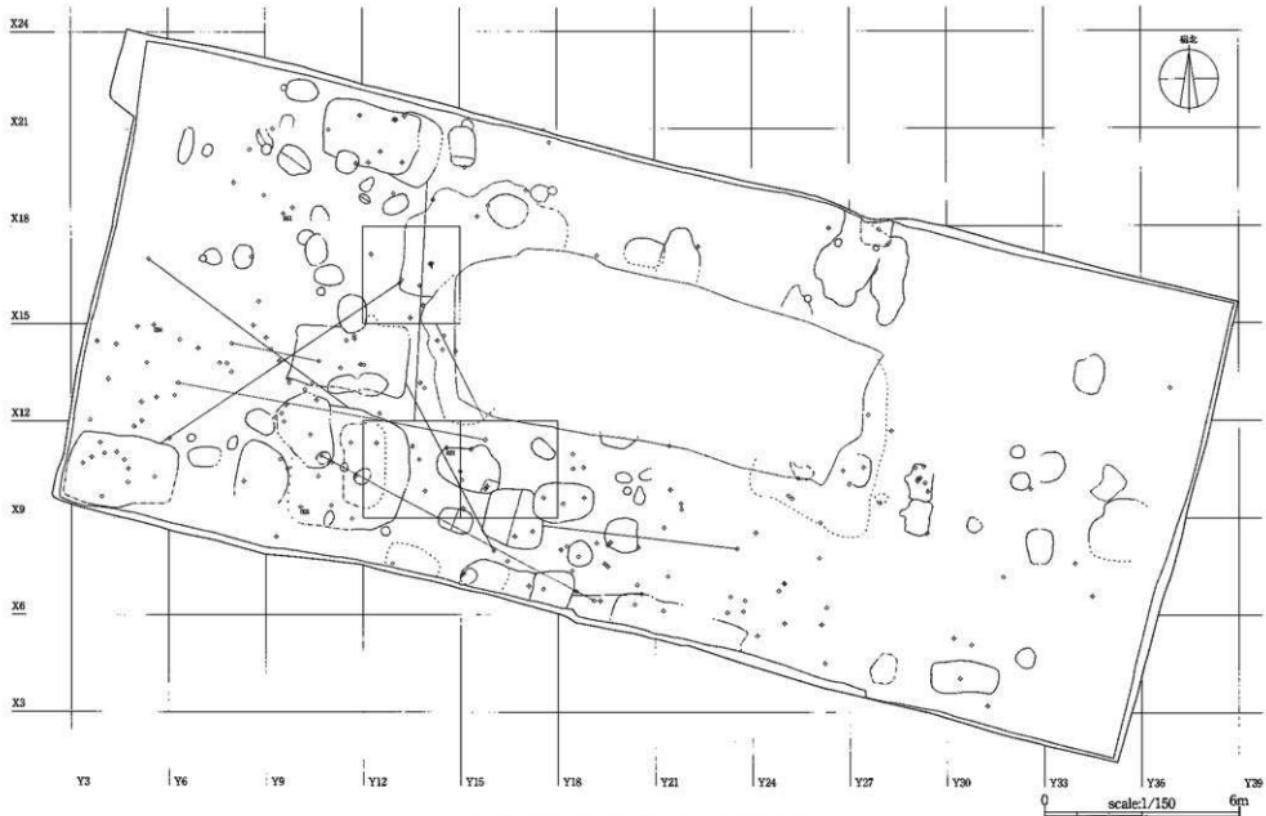
遺構	点数	合計重量(g)	平均重量(g)	接合個体数	接合率
SB1	36	10,346.0	287.4	1	2.8%
SB2	4	17.1	4.3	0	0.0%
SB3	5	15.8	3.2	3	60.0%
SB4	674	126,801.8	188.1	347	61.5%
SB45	94	14,001.1	148.9	45	47.9%
SP5	81	16,668.5	205.8	35	43.2%
SB7	138	42,419.7	307.4	18	13.0%
SP8	186	36,818.8	196.0	29	15.6%
SK001	2	215.9	108.0	2	100.0%
SK003	2	98.9	49.5	0	0.0%
SK005	3	332	42	2	25.0%
SK008	2	3,964.4	1,982.2	0	0.0%
SK012	1	299.1	299.1	0	0.0%
SK015	10	6,251.3	625.1	1	10.0%
SK016	2	18.0	9.0	0	0.0%
SK017	1	20.7	20.7	0	0.0%
SK019	3	98.0	32.7	0	0.0%
SK020	5	2,314.1	462.8	3	60.0%
SK031	98	66,168.8	675.2	22	22.4%
SK022	51	45,809.0	894.3	10	19.6%
SK025	10	301.4	30.1	0	0.0%
SK027	6	140.1	23.4	0	0.0%
SK032	30	15,664.9	522.2	12	40.0%
SK033	3	300.8	100.3	0	0.0%
SK034	1	46.1	46.1	0	0.0%
SK035	1	39.1	39.1	0	0.0%
SK036	1	72.5	72.5	0	0.0%
SK037	10	13,916.6	1,391.7	0	0.0%
SK038	9	1,134.3	126.0	1	11.1%
SK039	5	1,195	31.9	0	0.0%
SK041	1	334.3	33.4	0	0.0%
SK042	2	341	17.1	0	0.0%
SK045	9	936.2	104.0	0	0.0%
SK048	3	207.9	69.0	0	0.0%
SK050	24	79,425.6	3,299.4	2	8.3%
SK061	8	1,911.2	238.9	0	0.0%
SK062	8	845.9	105.7	0	0.0%
SK063	8	2,063.2	257.9	0	0.0%
SK064	97	8,768.0	90.4	34	35.1%
SK065	1	873.5	873.5	0	0.0%
SK066	2	42.2	21.1	0	0.0%
SK067	1	19.2	19.2	0	0.0%
SK068	6	291.1	48.5	0	0.0%
SK069	8	131.1	16.4	0	0.0%
SK070	6	1,021.8	163.9	1	6.3%
SK071	35	15,019.0	439.1	2	5.7%
SK073	4	2,366.2	591.6	0	0.0%
SK074	1	344	34.4	0	0.0%
SK075	4	1,589	397	0	0.0%
SK076	1	55.6	35.6	0	0.0%
SK077	6	188.4	31.4	0	0.0%
SK072	1	13.0	13.0	0	0.0%
SK074	9	1,158.6	128.7	0	0.0%
SK076	5	3,334.1	666.8	0	0.0%
SK079	18	3,824	209	2	11.1%
SK080	8	506.1	74.4	4	50.0%
SK086	5	2,677.5	535.5	0	0.0%
SK087	33	12,958.6	393	7	21.2%
SK088	4	327.4	81.9	0	0.0%
SK092	11	8,031.0	730.1	1	9.1%
SK095	32	3,281.7	102.6	2	6.3%
SK096	30	8,182.3	274.7	8	26.7%
SK098	2	520.1	260.1	0	0.0%
SK099	7	4,039.4	577.1	0	0.0%
SK103	105	27,024.1	257.4	11	10.5%
SK104	79	127,232.7	1,610.5	21	26.6%
SQ2	204	51,431.1	252.1	48	23.9%
SQ3	76	18,652.6	245.4	22	26.9%
SX11	33	8,600.3	256.6	0	0.0%
SX12	35	9,717.9	277.7	2	5.7%
SX13	19	4,148.5	218.3	2	10.5%
SX14	5	6,756.8	1,354.1	1	20.0%
SZ01	8	801.0	100.1	0	0.0%
SZ08	33	10,983.4	323.8	4	12.1%
SZ04	1	8.0	8.0	0	0.0%
TK	63	13,985.9	222.0	6	9.5%
TG	1131	459,367.4	406.2	193	17.1%
TT	241	42,882.8	177.9	36	14.9%
TY	25	3,076.9	127.1	4	16.0%
計	3523	1,002,616.1	284.6	929	26.4%



第10図 遺物分布図



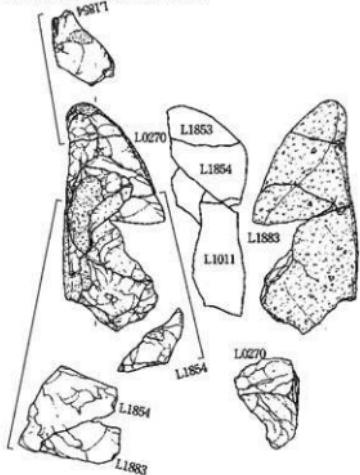
第11図 石製遺物接合資料分布図



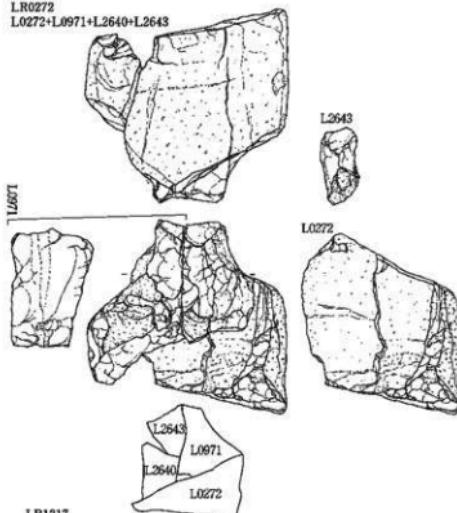
第12図 土製遺物接合資料及び金属製遺物分布図

业务号	流水号	ID	日志描述	状态(g)	R_code	Usn号	分段序号
134	0782_0802		0782(SB5-1)0802(SB5)	2	3472	2	U01 0782-0802
135	0784_0790		0784(SB5-1)0790(SB5)	2	7126	2	U01 0784-0790
136	0785_0795		0785(SB5-1)0795(SB5)-1,2,3,(SB006)	3	11143	5	U01,U15 0785-1730+1735
137	0802_0805		0802(TT10-1)0805(TG007X07T0805)	2	770	1	- 0802-0927
138	0803_0814		0803(SK10-1)1514(SK10-1)0804,(SK10-5)	2	8536	4	U03 0803-1314
139	0807_0807		0807(SK10-1)0804(SK10-5)	2	1438	2	U03 0807-0904
140	0808_0808		0808(SK10-1)0801(SK10-3)	2	6274	2	U03 0808-0901
141	08083	0808_225	0808(SK10B0W-1)0808(TG007Y10)	2	971	4	U03 0808-2256
142	08086	0808_108	0808(SK10B0W-1)0801(TT10)	2	4197	4	U03 0808-0931
143	08096	0808_0932	0808(SK10B0W-1)0802(TT10)	2	3956	4	U03 0808-0932
144	08099	0808_0922	0809(SK10B0W-1)0802(SK10B0W)	2	7942	2	U03 0809-0922
145	08104	0808_0929	0804(TT10-1)0809(TT10)	2	2689	1	- 0804-0929
146	08104	0808_1284	0804(TT10-1)0804(TG007Y10)	2	1862	1	- 0804-1284
147	08104	0808_0947	0804(TT10-1)0804(TT10)	2	247	1	- 0804-0947
148	081041	0808_0946	0804(TT10-1)0804(TT10-1)0804(TT10)	3	363	1	- 0804-0941+0945
149	08102	0808_2108	0808(TG007Y10-1)0808(TG007Y10)	2	336	4	U02 0808-2106
150	08103	0808_2671	0808(SB5T0-1)2671(SB5T0-10)	2	12834	2	U02 0808-2671
151	081073	0791118	0791118(SB5W-1)0808(W)	2	3744	5	U02,U03 0791118
152	081090	080609841,021,L002	0806(SB5T0-1)0801(SB5T0-1),021(SB5SW-1)	4	7210	2	U02 0806-0921+1022
153	081109	1209105	1209105(SB5W-1)0808(W)	2	779	2	U02 1209-105
154	081103	1205109	1205109(SB5W-1)0808(W)	2	2647	5	U02,U03 1205-109
155	081102	11521116	11521116(SB5W-1)11521116(SB5W)	5	163	3	U05 1152-1116+1120
156	081106	1001101122	1001101122(SB5W-1)1001101122(SB5W)	5	21866	2	U05 1112-1006-1083
157	081109	10581130	10581130(SB5W-1)10581130(SB5W)	5	615	2	U05 1058-1130
158	081126	11261130	11261130(SB5W-1)11261130(SB5W)	5	1366	4	U05 1126-1130
159	081127	11271131,11271132	11271131,11271132(SB5W-1)11271131(SB5W),11271132(SB5W)	4	754	2	U05 1127-1131+1132
160	081129	11291130	11291130(SB5W-1)11291130(SB5W)	5	374	2	U05 1129-1130
161	081135	11351134	11351134(SB5W-1)11351134(SB5W)	2	4793	2	U05 1135-1134
162	081139	11391143	11391143(SB5W-1)11391143(SB5W)	2	1492	2	U05 1139-1143
163	081150	11501151	11501151(SB5W-1)11501151(SB5W)	2	683	4	U05 1150-1151
164	081166	11661167	11661167(SB5W-1)11661167(SB5W)	2	5770	5	U05,U11 1166-1167
165	081187	11871195	11871195(SB5W-1)11871195(SB5W)	2	1263	2	U05 1187-1195
166	081197	11971201	11971201(SB5W-1)11971201(SB5W)	2	34821	2	U05 1197-1201
167	081198	11981201,12011206	11981201,11981201(SB5W-1),1201(SB5W-1),11981201(SB5W)	4	7130	2	U05 1198-1201+1206
168	081204	12041207	12041207(SB5W-1)12041207(SB5W)	2	1987	2	U06 1204-1207
169	081209	12091206	12091206(SB5W-1)12091206(SB5W)	2	2872	2	U06 1209-1206
170	081207	12071209	12071209(TG007Y10)	2	994	4	U06 1207-1209
171	081217	12171229,1245	12171229(SB5W-1)2145(SB5W-1)12171229(TG007Y10)	2	5461	5	U06,U14 1217-1229+1232
172	081221	12241230,1230	12241230(SB5W-1)2200(SB5W-1)12241230(TG007Y10)	3	5084	4	U06 1224-1230+2200
173	081228	12281230,1230	12281230(SB5W-1)2280(SB5W-1)	3	374	2	U06 1228-1230+2280
174	081247	12471256	12471256(SB5W-1)	2	182	2	U06 1247-1256
175	081253	12531254	12531254(SB5W-1)	2	108	2	U06 1253-1254
176	081264	12641266	12641266(TG007Y10-1)1264(TG007Y10)1266(TG007Y10)1266(TG007Y10)	2	9003	1	- 1264-1266
177	081274	12741275	12741275(TG007Y10)1274(TG007Y10)	2	5641	1	- 1274-1275
178	081296	12961303	12961303(SB5W-1)12961303(SB5W)	2	1090	3	U06 1296-1319
179	081307	13071313	13071313(SB5W-1)13071313(TG007Y10)13071313(SB5W)	2	3116	4	U06 1307-1313
180	081312	13121314,13141326	13121314(SB5W-1)13141314(SB5W-1),13121314(SB5W-1),13121314(SB5W-1)	4	11999	2	U06 1312-1314+1316+1326
181	081320	13201323	13201323(SB5W-1)13201323(TG007Y10)13201323(SB5W)	2	662	4	U06 1320-1333
182	081322	13221326	13221326(1401,TG007Y10)	2	541	4	U06 1322-1326
183	081354	13541355	13541355(SB5W-1)	2	5881	2	U06 1354-1355
184	081361	13611379	13611379(SB5W-1)	2	19455	2	U06 1361-1379
185	081366	13661367	13661367(SB5W-1)	2	1072	2	U06 1366-1367
186	081371	13711329	13711329(SB5W-1)	2	4215	2	U06 1371-1378
187	081374	13741375	13741375(SB5W-1)	2	3634	2	U06 1374-1375
188	081376	13761377	13761377(SB5W-1)	2	3145	2	U06 1376-1377
189	081395	13951397	13951397(SB5W-1)	2	10956	4	U06 1395-1397
190	081406	14061407	14061407(SB5W-1)14061406(SB5W-1)	2	135910	2	U07 1406-1416
191	081414	14141416	14141416(TG007Y10-1)14141416(TG007Y10)14141416(TG007Y10)14141416(TG007Y10)	2	2	1414-1416	
192	081426	14261427	14261427(TG007Y10-1)14271427(TG007Y10)14261427(TG007Y10)	2	950	1	- 1426-1427
193	081453	14531454	14531454(TG007Y10-1)14531454(TG007Y10)14531454(TG007Y10)	2	7986	4	U08 1453-1454
194	081458	14581465,1051	14581465(SB5W-1),14581465(SB5W-1),14581465(SB5W-1),14581465(SB5W-1)	4	5676	4	U08 1051-1059+1458+1465
195	081459	14591460,2151	14591460(SB5W-1),14591460(SB5W-1),14591460(SB5W-1),14591460(SB5W-1)	3	2019	5	U14,U39 1459-1460+2151
196	081467	14671468	14671468(SB5W-1)	2	813	4	U08 1467-1045
197	081470	14701471,1496	14701471(SB5W-1),14711496(SB5W-1)	3	679	2	U08 1470-1471+1496
198	081476	14761508	14761508(SB5W-1)	2	1089	2	U09 1476-1508
199	081489	14891512,1527	14891512(SB5W-1),15121527(SB5W-1)	3	2404	2	U09 1489-1512+1527
200	081493	14931500	14931500(SB5W-1)	2	303	2	U09 1493-1500
201	081499	14991509	14991509(SB5W-1)	2	546	4	U09 1499-1509
202	081507	15071530,15301532	15071530(SB5W-1),15301532(SB5W-1)	4	2046	2	U09 1507-1530+1530+1532
203	081516	15161520,1524	15161520(SB5W-1),15241524(SB5W-1)	2	1827	5	U13,U39 1516-1520+1524
204	081506	15061507	15061507(TG007Y10-1)15071507(TG007Y10)	2	2943	1	- 1506-1507
205	081509	15091514	15091514(SB5W-1)	2	851	1	- 1509-1514
206	081510	15101527	15101527(SB5W-1)	2	318	2	U13 1510-1527
207	081540	15401544	15401544(SB5W-1)	2	3659	2	U09 1540-1544
208	081543	15431545	15431545(SB5W-1)	2	104	2	U13 1543-1545
209	081551	15511556	15511556(SB5W-1)	2	500	2	U13 1551-1556
210	081569	15691573	15691573(SB5W-1)	2	905	2	U13 1569-1573
211	081567	15671571	15671571(SB5W-1)	2	185	2	U13 1567-1571
212	081569	15691573	15691573(SB5W-1),15691573(TG007Y10-1),15691573(TG007Y10)	2	7230	4	U09 1569-1573
213	081571	17111719	17111719(SB5W-1)	2	532	2	U13 1711-1719
214	081573	17311732	17311732(SB5W-1)	2	1598	2	U15 1731-1732
215	081572	17511807,1808	17511807(SB5W-1),18081808(SB5W-1)	2	8624	2	U06 1751-1807+1808
216	081573	17531762,18201827	17531762(SB5W-1),18201827(SB5W-1)	4	2704	2	U06 1753-1762+1820+1827
217	081759	17591761,17611764,17641765	17591761(SB5W-1),17611764(SB5W-1),17641765(SB5W-1)	5	246	2	U06 1759-1764+1764+1765+1765
218	081772	17721786	17721786(SB5W-1),17861786(SB5W-1)	2	2627	2	U06 1772-1786
219	081775	17731793,18011811	17731793(SB5W-1),18011811(SB5W-1)	4	11338	2	U06 1801-1802+1773+1793

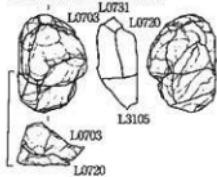
LR0270
L0270+L1011+L1853+L1854+L1883



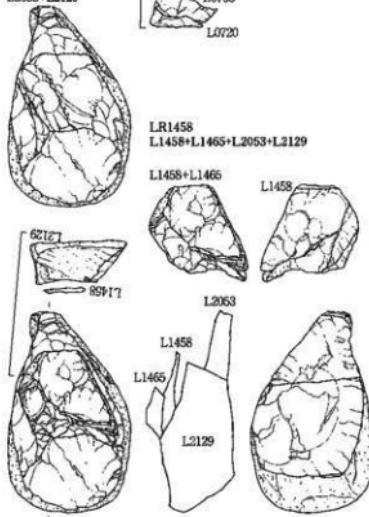
LR0272
L0272+L0971+L2640+L2643



LR0703
L0703+L0720+L0731+L3105

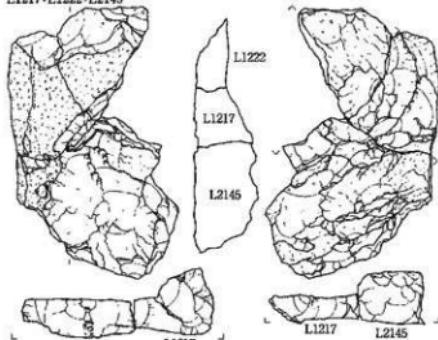


L2053+L2129

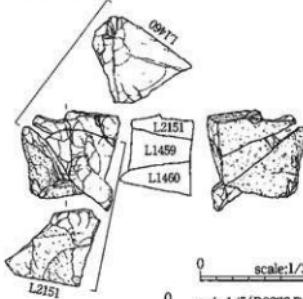


LR1217

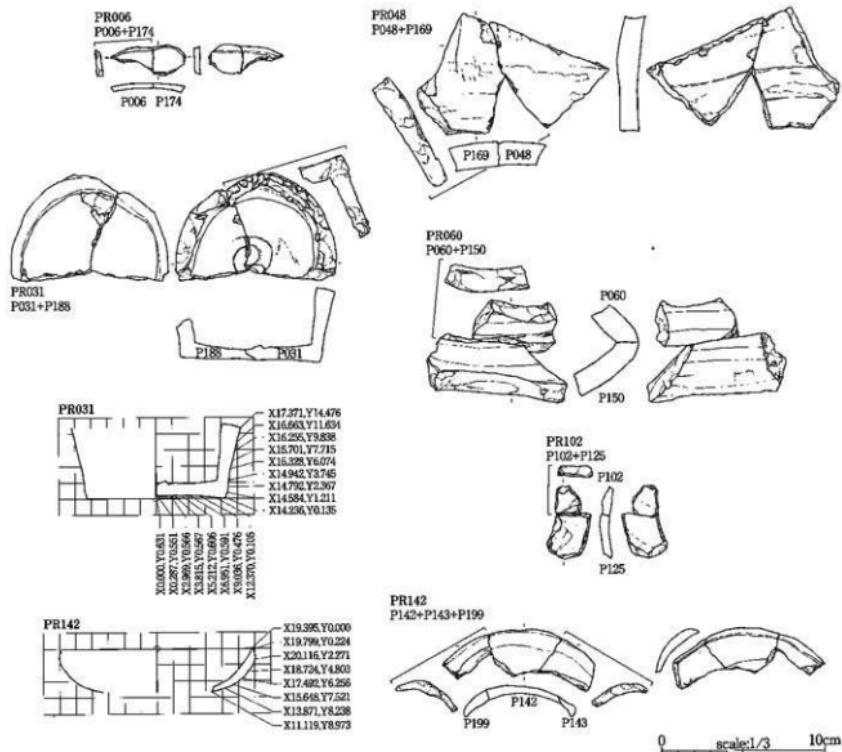
L1217+L1222+L2145



LR1459
L1459+L1460+L2151



第13図 石製造物接合資料実測図



第14図 土製造物接合資料実測図

第23表 土製造物接合距離一覧

座標番号	接合番号	X座標-1	Y座標-1	Z座標-1	X座標-2	Y座標-2	Z座標-2	R_code	接合code	水平距離(m)	垂直距離(m)
1 2004	004	SK0006	6216	20.263	602.797	= 005	SK002	6216	21.363	602.797	2 0.000
2 2006	006	TG0007	6454	20.579	603.803	= 174	TG0021	6454	10.667	600.081	4 4
3 2002	007	TG0008	6438	19.107	602.602	= 107	TG0009	10.956	10.667	600.081	1 1
4 2013	013	TG0009	10.954	18.408	600.795	= 014	TG0009	10.524	18.468	600.795	1 1
5 2013	014	TG0008	10.954	18.468	600.795	= 015	TG0009	10.524	18.468	600.795	1 1
6 2016	016	TG0009	9.459	21.798	602.071	= 017	TG0009	9.285	21.810	602.077	1 1
7 2025	025	TG0007	6.738	24.853	603.287	= 026	TG0007	6.738	24.933	603.287	1 1
8 2031	031	TG0007	6.048	23.527	603.546	= 032	TG0007	6.048	23.527	603.546	4 4
9 2041	041	TG0012	11.181	20.263	602.797	= 042	TG0012	11.422	15.766	602.714	1 1
10 2046	046	TG0012	10.957	16.669	600.717	= 215	TY	10.957	16.669	600.717	4 4
11 2048	048	TG0012	17.006	13.596	602.304	= 169	SD8	17.006	13.596	602.304	- -
12 2055	055	TG0012	17.006	13.596	602.304	= 096	TG0012	17.006	10.643	602.341	1 3
13 2060	060	TG0012	7.983	16.028	603.754	= 190	SD7	7.983	16.028	603.754	4 4
14 2074	074	SK0005	10.952	26.227	603.510	= 074	SK0005	10.952	26.279	603.510	2 2
15 2089	089	TG0012	19.358	8.032	602.700	= 050	TG0012	19.358	8.032	602.700	1 1
16 2026	026	TG0012	19.358	8.022	602.700	= 061	TG0012	19.358	8.032	602.720	1 1
17 2102	102	TG0012	16.262	13.141	603.969	= 125	SD1	16.262	13.141	603.969	4 4
18 2119	119	SX12	16.967	14.128	603.580	= 125	SX12	16.847	14.078	603.582	2 2
19 2132	132	SD3	16.967	14.128	603.580	= 129	SD3	16.967	14.128	603.580	2 2
20 2118	133	SP3	16.967	14.128	603.580	= 128	SP4	16.967	14.128	603.580	2 2
21 2125	135	SD4	16.967	14.128	603.580	= 143	SD4	16.967	14.128	603.580	2 2
22 2126	136	SD5	16.967	14.128	603.580	= 149	SD5	16.967	14.128	603.580	2 2
23 2143	143	SD6	16.967	14.128	603.580	= 165	SD6	16.967	14.128	603.580	2 2
24 2146	146	SD8	16.967	14.128	603.580	= 165	SD8	16.967	14.128	603.580	2 2
25 2164	164	SD8	16.967	14.128	603.580	= 165	SD8	16.967	14.128	603.580	2 2
26 2164	165	SD8	16.967	14.128	603.580	= 181	SK0054	16.967	14.128	603.580	2 2
27 2180	180	SK0054	16.967	14.128	603.580	= 194	TG0012	16.967	14.128	603.580	2 2
28 2193	193	TG0012	16.967	14.128	603.580	= 204	TG0012	16.967	14.128	603.580	1 1
29 2195	194	TG0012	16.967	14.128	603.580	= 204	TG0012	16.967	14.128	603.580	1 1
30 2198	198	TG0012	16.967	14.128	603.580	= 211	TY	16.967	14.128	603.580	1 1
31 2207	207	TT10	16.967	14.128	603.580	= 208	TT10	16.967	14.128	603.580	1 1
32 2213	213	TY	16.967	14.128	603.580	= 214	TY	16.967	14.128	603.580	1 1

4.2.2.有機遺物

五輪遺跡第1次調査では、総取り上げ単位数38を数える有機遺物を回収した。動物遺存体と考えられるものは原則として全て回収した。植物遺存体は1cm程度以上のものを回収した。

取り上げ段階以降の崩壊が著しく、個体数のカウントすら困難であった為、すべての遺物に個体識別番号を与えて管理するという整理作業方針を変更せざるを得なかつた。そこで動植物遺存体については取り上げ単位毎に管理番号を付し、単位毎に重量を計測し、動植物種の鑑定を実施した(註1)。個体数のカウント及び接合作業は実施しなかつた。

4.2.2.1.動物遺存体

20単位を回収した。遺構帰属率は76.5%であった。それら遺構のはほとんどが火葬墓と考えられる土坑であった。

第24表 動物遺存体主要諸元

骨頭単位数	20	総重量(g)	508.0
平均単位数	-	1単位数	17
操作率(%)	-	操作合算個体数	-
平均操作合算個体数	-	操作合算個体数	-
動物遺存体分布密度(単位/平米)	0.03	表面面積(平米)	497
三次元記録正倒率(%)	35.3%	三次元記録正倒率	6
遺構帰属率(%)	76.5%	遺構帰属率	13
欠損率(%)	15.0%	欠損率	3
平均水平接合距離(m)	-	平均重量(g)	28.9
平均重複接合相対距離(m)	-	平均体積(立方)	未算出

第25表 動物遺存体属性一覧

管造番号	遺構1	遺構2	埋蔵年数	ユニット	重量(g)	種	遺存状態	被熱	部位	備考
OA01	SB8	NW	不明	U03	41	ウマ	骨	無	大頭	
OA02	SK005	1区	不明	U04	88.1	ヒト	骨	有	腰椎,腰椎骨,長管骨(上・下肢),指骨	
OA03	SK005	2区	不明	U04	52.9	ヒト	骨	有	腰椎,長管骨(上・下肢),手骨	
OA04	SK010	1区	不明	-	7.3	ヒト	骨	有	腰椎,長管骨	
OA05	SK010	2区	不明	-	9.2	ヒト	骨	有	長管骨,肋骨	
OA06	SK010	3区	不明	-	7.6	ヒト	骨	有	四肢骨	
OA07	SK010	4区	不明	-	26.0	ヒト	骨	有	腰椎,長管骨(下肢),指骨	
OA08	SK010	-	不明	-	-	-	-	-	-	洗浄時に消滅
OA09	SK016	1区	不明	U04	19.5	ヒト	骨	有	腰骨,四肢骨	
OA10	SK019	NW02	未確認	U05	24	不明	骨	無	骨	
OA11	SK020	-	不明	-	1.9	ヒト	骨	有	腰椎骨	
OA12	SK020	-	不明	-	66.9	ヒト	骨	有	腰椎,下腰骨,長管骨(上・下肢),肋骨	
OA13	TG	X03Y27	不明	-	3.0	ヒト	骨	有	四肢骨	
OA14	TG	X18Y15	不明	-	147.5	ウマ	骨	無	臼歛(上歛)	
OA15	TY	-	不明	-	-	-	-	-	-	洗浄時に消滅
OA16	TT01	TT00	-	-	-	-	-	-	-	
OA17	TT01	TT01	未確認	-	27.3	ウマ	骨	無	臼歛	
OA18	TG	T02	未確認	-	41.5	ウマ	骨	無	臼歛	
OA19	TG	T49B	未確認	-	0.9	ヒト?	骨	有	細片	洗浄時に難と判定
OA20	SB1	TS04	未確認	-	1.9	ウマ	骨	無	臼歛	

第27表 植物遺存体属性一覧

管造番号	遺構1	遺構2	埋蔵年数	ユニット	重量(g)	種	遺存状態	備考
OP01	SB4	-	不明	U01	36.5	ケヤキ	炭化	
OP02	SB4	-	不明	U01	5.5	ケヤキ	炭化	
OP03	SK005	-	不明	U04	6.4	サクラ,コナラ	炭化	
OP04	SK010	2区	不明	-	8.2	クリ	炭化	
OP05	SK010	4区	不明	-	18.0	クリ	炭化	
OP06	SK016	1区	不明	U04	22.5	スギ	炭化	
OP07	SK020	-	不明	-	47.6	セナギ	炭化	
OP08	SK020	-	不明	-	4.9	コナラ	炭化	
OP09	SK020	-	不明	-	15.4	クリ,コナラ	炭化	
OP10	SK020	-	不明	-	21.1	スギ	炭化	
OP11	SK020	-	不明	-	6.3	クリ	炭化	
OP12	SK020	-	不明	-	45.8	スギ,コナラ	炭化	
OP13	SK020	-	不明	U02	37.1	ヤナギ	炭化	
OP14	SK020	-	不明	-	106.6	タリミ	炭化	
OP15	TT02	NW01	未確認	-	45.6	スギ?	腐敗	
OP16	TG	T06B	未確認	-	1.3	タルミ?	腐敗	
OP17	TG	T305	未確認	-	1.7	ヤナギ	炭化	
OP18	TT28	T511	未確認	-	71.7	クリorコナラ	炭化	

人骨は全てが熱を受けており、逆に馬骨は全てが熱を受けていない状態の歯であった。なおA12に含まれる下頸骨については、前歯の齒槽は全て閉鎖しており、犬歯及び小臼歯の齒槽は解放するが齒槽線は退化傾向を示すから、成人以降の年令と推測し得る。

4.2.2.2.植物遺存体

18単位を回収した。遺構帰属率は77.8%であった。それら遺構のはほとんどが火葬墓と考えられる土坑であった。P16,P17を除いては全て炭化状態であった。

補註

(註1)

動物遺存体の動物種鑑定は西沢寿晃氏に、植物遺存体の植物種鑑定は森 義直氏に依頼した。

第25表 植物遺存体主要諸元

遺構単位数	18	総重量(g)	498.2
平均単位数	-	1単位数	18
操作率(%)	-	操作合算個体数	-
平均操作合算個体数	-	操作合算個体数	-
植物遺存体分布密度(単位/平米)	0.04	表面面積(平米)	497
三次元記録正倒率(%)	22.2%	三次元記録正倒率	4
遺構帰属率(%)	77.8%	遺構帰属個体数	14
欠損率(%)	0.0%	欠損率	0
平均水平接合距離(m)	-	平均重量(g)	27.5
平均重複接合相対距離(m)	-	平均体積(立方)	未算出

第15図 動物遺存体出土遺構分布図



第16図 植物遺存体出土遺構分布図



5. 総括

本遺跡では遺構検出の困難な堆積状況、遺物出土量の多さ、さらには複雑かつ多量の遺物接合関係が確認されたこと等から、現場段階、整理作業段階共に困難な調査となつた。加えて現場段階における土層記録ミスや遺構掘削段階以降は遺構単位での遺物取り上げを多用せざるを得なかつたことから、本来記録保存として必要な情報が欠落してしまつた部分も多い。

本報告書では記録保存として必要な情報を可能な限り数値化し、より単純な状態で提示することを目的とし、その目的に必要と判断した情報は從来の報告書には掲載されなかつたと考えられるものも提示した。

5.1. 調査主要諸元(第28表)

本調査の成果は調査主要諸元にある程度集約し得たものと考えられる。なお、調査区面積は調査面積の平方根を4倍して算出した。また、本報告書においては算出し得なかつたが、遺構の断面図と平面図の誤差の平均値であるセクションポイント誤差相対距離や、平均掘削屢土壤土色と平均基盤層土色の相対距離の平均として算し出得る土壤難易指數等の項目も調査精度を数値化する上で必要になるものと考えられる。

5.2. 遺物分布と遺構平面形(第17,18図)

第17,18図は遺構分布図に三次元座標記録を成し得た全無機遺物をプロットしたものである。遺構単位等で取り上げた遺物情報は反映されていない。

第17図においては平均遺物水平接合距離を、第18図においては平均遺構現存最大長を直径とする円を描き、平均遺構単位無機遺物数17.8を100%とする、すなわち1点あたりの濃度を5.6%とする重み付け処理を施したものである。なお、遺構外ながら濃い濃度を示すX12Y06,X06Y24グリッド周辺に遺構検出ミスの可能性が示唆される。

5.3. 遺構間無機遺物接合関係(第19図)

第19図は本調査で確認し得た接合コード4及び接合コード5、すなわち石製遺物の遺構間接合関係を抽象化したものである。無機遺物の三次元座標記録率が36.8%であった為、殻層層厚の推定が成し得なかつた遺物が63.2%を占める。その為遺構間土層対比は断念し、遺構間接合関係を模式化するに止めた(太田・2003)。

なお、本調査では成し得なかつたものの、遺物包含層を含む遺構接合関係情報、遺物三次元座標、遺構外を含む遺構検出接合情報から遺構間土層対比を実施し、さらに初鋸年付の判明している金属製遺物の情報等も加えることにより、今後さらなる精度向上が期待し得る。

引用・参考文献

内堀 団 2003「金属器」「平田本郷遺跡4-5」松本市教育委員会 pp59~pp61
太田圭輔 2003「石器」「平田本郷遺跡4-5」松本市教育委員会 pp62~pp85

第1表 遺構主要諸元(再掲)

遺構検出山本郷割率(%)	49.3%	遺構数	140	検出坑口写真面積割率(%)	69
遺構欠損率(%)	17.1%	欠損遺構数	24	遺構接合率(%)	16
遺構接合率(%)	11.4%	接合遺構数	16	断面面積割合率(%)	110
遺構断面積割合率(%)	78.6%	断面面積合計割率(%)	87	断面面積割合率(%)	497
遺構面積割合率(%)	62.1%	遺構面積(平米)	0.3	出土遺物種類(件数)	11
遺構分布密度(度数/平米)	0.3	遺構面積割合率(%)	35.5%	断面面積割合率(%)	11
区分補正面積割合率(%)	35.5%	遺構面積割合率(%)	35.5%	断面面積割合率(%)	11
区分面積割合率(%)	35.5%	平均遺構面積(m ²)	0.9	平均遺構面積(m ²)	11

第2表 石製造物主要諸元(再掲)

総回収個体数	3176	總重量(g)	998,659.4
單品率(%)	72.5%	總體積	3173
接合率(%)	27.5%	總面積	871
平均接合個体数	3.0	接合面積	295
石製造物分布密度(点/平米)	6.4	測量面積(平米)	497
三次元座標記録率(%)	34.2%	三次元座標記録個体数	1066
傾斜率(%)	0.1%	無機層別記録個体数	34
遺構埋没率(%)	73.9%	遺構面積割合個体数	2345
欠損率(%)	0.1%	欠損個体数	3
宋密率(%)	60.0%	宋密個体数	22
平均水平接合距離(m)	1.275	平均重量(g)	3147
平均垂直接合距離(m)	0.038	平均体積(cm ³)	5.6
平均直接合相对距離(m)	0.021	平均重積(重積)	未算出

第9表 土製造物主要諸元(再掲)

総回収個体数	234	總重量(g)	3,181.8
單品率(%)	74.9%	總體積	231
接合率(%)	25.1%	総面積	58
平均接合個体数	2.2	総面積割合	26
土製造物分布密度(点/平米)	0.5	測量面積(平米)	497
三次元座標記録率(%)	54.1%	三次元座標記録個体数	125
傾斜率(%)	12.2%	無機層別記録個体数	28
隔離層半径定(%)	40.3%	遺構面積割合個体数	93
遺構埋没率(%)	43.7%	欠損個体数	3
欠損率(%)	1.3%	欠損個体数	1
宋密率(%)	0.6%	宋密個体数	13
平均水平接合距離(m)	1.845	平均重量(g)	13.8
平均直接合相对距離(m)	0.021	平均体積(重積)	未算出

第10表 金属製造物主要諸元(再掲)

総回収個体数	125	總重量(g)	774.9
單品率(%)	100.0%	總體積	119
接合率(%)	0.0%	接合個体数	0
平均接合個体数	0.0	接合面積	0
金無機物分布密度(点/平米)	0.2	測量面積(平米)	497
三次元座標記録率(%)	72.3%	三次元座標記録個体数	86
傾斜率(%)	25.2%	無機層別記録個体数	30
遺構埋没率(%)	40.3%	遺構面積割合個体数	48
欠損率(%)	4.8%	欠損個体数	6
宋密率(%)	15.1%	宋密個体数	18
平均水平接合距離(m)	0.001	平均重量(g)	6.5
平均直接合相对距離(m)	0.000	平均体積(立體)	未算出

第11表 無機遺物主要諸元(再掲)

総回収個体数	3535	總重量(g)	1,002,616.1
單品率(%)	73.6%	總體積	3523
接合率(%)	26.4%	接合個体数	929
平均接合個体数	2.9	接合面積	321
無機遺物分布密度(点/平米)	7.1	測量面積(平米)	497
三次元座標記録率(%)	36.8%	三次元座標記録個体数	1297
傾斜率(%)	0.02%	無機層別記録個体数	32
遺構埋没率(%)	70.6%	遺構面積割合個体数	2487
欠損率(%)	0.3%	欠損個体数	12
宋密率(%)	0.02%	宋密個体数	54
平均水平接合距離(m)	1.335	平均重量(g)	284.5
平均直接合相对距離(m)	0.026	平均体積(立體)	未算出

第28表 調査主要諸元

年数(日)	32	調査員数(人)	7	作業員数(人)	11
調査区面積割合取得率(%)	109.1%	調査区面積(m ²)	89.2	既往回収取得面積区面積割合(m ²)	97.3
遺構検出面積割合取得率(%)	100.0%	遺構面積(平米)	497	遺構検出面積区面積割合(m ²)	未算出
平均遺構面積割合取得率(%)	未算出	遺構面積(平米)	未算出	既往回収面積割合(m ²)	未算出
平均遺構面積割合取得率(%)	39.7%	遺構面積(平米)	3523	三次元座標記録無機遺物点数	1297
無機遺物三次元座標記録率(%)	36.8%	無機遺物点数	-	遺構面積割合無機遺物点数	2487
無機遺物分布密度(点/平米)	7.1			既往回収面積割合無機遺物点数	929
無機遺物分布密度(%)	70.6%			遺構面積割合無機遺物点数	140
無機遺物分布合率(%)	26.4%			既往回収面積割合無機遺物点数	6
平均遺構面積割合無機遺物数	178	遺構面積割合無機遺物点数	2487	既往回収面積割合無機遺物点数	63
既往回収面積割合無機遺物数	144	既往回収面積割合無機遺物点数	80	既往回収面積割合無機遺物点数	未算出
土層往記入各率(%)	9.3%	土層数	675	既往回収面積割合無機遺物点数	未算出
セクションポイント開拓面積和面積(m ²)	未算出	平均遺構面積上土色	未算出	平均基盤層土色	未算出
土壤難易度	未算出				



第17圖 平均遺物水平接合距離徑遺物分布圖



第18図 平均遺構現存最大長径遺物分布図

抄録

ふりがな	ながのけんまつもとし	ごりんいせき	だいじきんきゅうはくつちょうさほうこくしょ				
書名	長野県松本市 五輪遺跡 第1次緊急発掘調査報告書						
副書名							
巻次							
シリーズ名	松本市文化財調査報告						
シリーズ番号	No.171						
編著者名	栗田幸信、赤羽裕幸、内堀 国、太田圭輔、清水 実						
編集機関	松本市教育委員会						
所在地	〒390-8620 長野県松本市丸の内3番7号 TEL 0263-34-3000(代表) (記録・資料保管: 松本市立考古博物館 〒390-0823 松本市中山3738-1 TEL 0263-86-4710)						
発行年月日	2003(平成15)年12月26日(平成15年度)						
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード 市町村 遺跡番号	北緯 東経	測定期間	調査面積	調査原因	
ごりん 五輪	ながのけんまつもとし 長野県松本市 のみやもとこう 野善木工丁目382-13	20202	178 36度 11分 57秒	137度 57分 36秒	20030210~ 20030328 (実施32日)	497平米	産田建設株式会社及び 株式会社エスティートギャラリーによる共同住宅建設
所収遺跡名	種別	主な時代	遺構	遺物			特記事項
五輪	集落址	中世(推定)	住居址 土坑 遺物集中 落ち込み	5箇所 76箇所 4箇所 5箇所	石製遺物(櫛片類等) 土製遺物(陶磁器等) 金属製遺物(釘、鉄等) 有機遺物(竹、炭化物等)	3176点(欠番3点) 234点(欠番6点) 125点(欠番6点) 38单位(欠番3单位)	緊急発掘調査精度の数値化を試みた。

調査主要諸元(再掲)

実施日(日)	32	調査員数(人)	7	作業員数(人)	11
調査区壁面断面図取得率(%)	109.1%	調査区壁面長(m)	89.2	断面図取得調査区壁面長(m)	97.3
遺構検出面積分布密度(点/平米)	未算出	調査面積(平米)	497	遺構検出面積Z座標測点数	未算出
平均遺構単位無機遺物三次元座標記録率(%)	39.7%				
無機遺物三次元座標記録率(%)	36.8%	無機遺物終点数	3523	三次元座標記録無機遺物点数	1297
無機遺物分布密度(点/平米)	7.1				
無機遺物追跡率(%)	70.6%				
無機遺物接合率(%)	26.4%				
平均構造単位無機遺物数	17.8	遺構場所無機遺物終点数	2487	遺構数	140
総接合稼働(人日)	144	総接合口数	80	総接合稼働員数	6
土層計欠落率(%)	9.3%	土层数	675	注記漏れ土層数	63
セクションポイント偏差相対距離(m)	未算出	平均遺構櫛土色	未算出	平均基盤層土色	未算出
土壤難易指數	未算出				

松本市文化財調査報告No.171

長野県松本市

五輪遺跡

第1次緊急発掘調査報告書

発行日 平成15(西暦2003)年12月26日

発 行 松本市教育委員会

郵便番号390-8620
長野県松本市丸の内3番7号
電話番号0263-34-3000(代表)

印 刷 株式会社総合印刷

郵便番号399-0701
長野県塩尻市広丘古田659-1
電話番号0263-57-4556(代表)

月次

1. 調査経過 -1
 1.1. 調査経緯 -1
 1.2. 調査体制 -1

2. 遺跡環境 -1
 3. 調査方法 -2
 3.1. 現場作業 -2
 3.2. 整理作業 -3

4. 調査成果 -4
 4.1. 土層 -4
 4.2. 遺物 -20
 4.2.1. 無機遺物 -20
 4.2.2. 有機遺物 -34
 5. 総括 -35

報告書主要諸元

入稿形式 PDF
版式 CTPオフセット印刷
出力枚数 150枚/インチ
製本 50部綴じ並製本

表紙紙質 レザック80つむぎ
Y目210kg
表紙紙色 こげ茶
本文紙質 マットコート90kg

